

「運び方改革と地域活性化」

～ 地域と物流の課題解決に向けて ～



佐川急便株式会社
内田 浩幸

SgH SG ホールディングス

デリバリー事業

- SAGAWA** 佐川急便
- humony ヒューモニー
- Sg moving SGムービング
- WORLD SUPPLY ワールドサプライ

ロジスティクス事業

- Sg logistics 佐川グローバルロジスティクス
- Sg logistics 佐川ロジスティクスパートナーズ
- SgH GLOBAL SGHグローバル・ジャパン

不動産事業

- Sg realty SGリアルティ
- Sg assetmax SGアセットマックス

その他の事業

- Sg advance 佐川アドバンス
- Sg motors SGモーターズ
- Sg systems SGシステム
- 無錫飛速物流信息科技有限公司
- Sg financial 佐川フィナンシャル
- Sg fielder SGフィルダー
- Sg expert SGエキスパート
- ヌーヴェルゴルフ倶楽部
- Sg forestry 佐川林業

SgH GLOBAL SG ホールディングス・グローバル

東アジア

- 天津保利佐川国際貿易
- 上海保利佐川物流
- 保利佐川物流
- 上海大衆佐川急便物流
- 佐川急便 香港
- 台湾 佐川急便国際股份
- 佐川ロジスティクス コリア
- エクスポフレイト 香港
- エクスポランカフレイト 上海
- 他、計 11 社

東南アジア

- 佐川急便 フィリピン
- 佐川グローバルロジスティクス フィリピン
- 佐川急便 タイランド
- SG佐川 タイ
- 佐川急便 ベトナム
- SG佐川 ベトナム
- 佐川急便 マレーシア
- 佐川通関 マレーシア
- 佐川急便 シンガポール
- アメロイド ロジスティクス
- アムガス アジア
- 佐川急便 インドネシア
- エクスポランカフレイト ベトナム
- 【インドネシア】 エクスポ ユニバラ
- エクスポランカフレイト フィリピン
- エクスポランカフレイト カンボジア
- 他、計 16 社

南アジア / 西アジア

- exp エクスポランカ ホールディングス
- efl 【スリランカ】 エクスポランカフレイト
- 【インド】 エクスポフレイト
- エクスポランカ バングラディシュ
- エクスポランカフレイト ドバイ
- 【パキスタン】 ユニオンカーゴ
- Classic travel クラシック トラベル
- 他、計 64 社

北米

- SG佐川 USA
- 佐川急便 ハワイ
- エクスポランカ USA
- 他、計 5 社

アフリカ

- 【南アフリカ】 エクスポランカフレイト
- エクスポランカフレイト ケニア
- エクスポランカフレイト モーリシャス
- エクスポランカ マダガスカル
- 他、計 5 社



宅配便事業を中心に 物流のトータルソリューションを提供

佐川急便株式会社



手ぶら観光サービス



貨客混載



スーパーレールカーゴ



館内物流

保有車両台数

約**25,000**台



拠点数

18支店
425営業所



宅配取扱個数

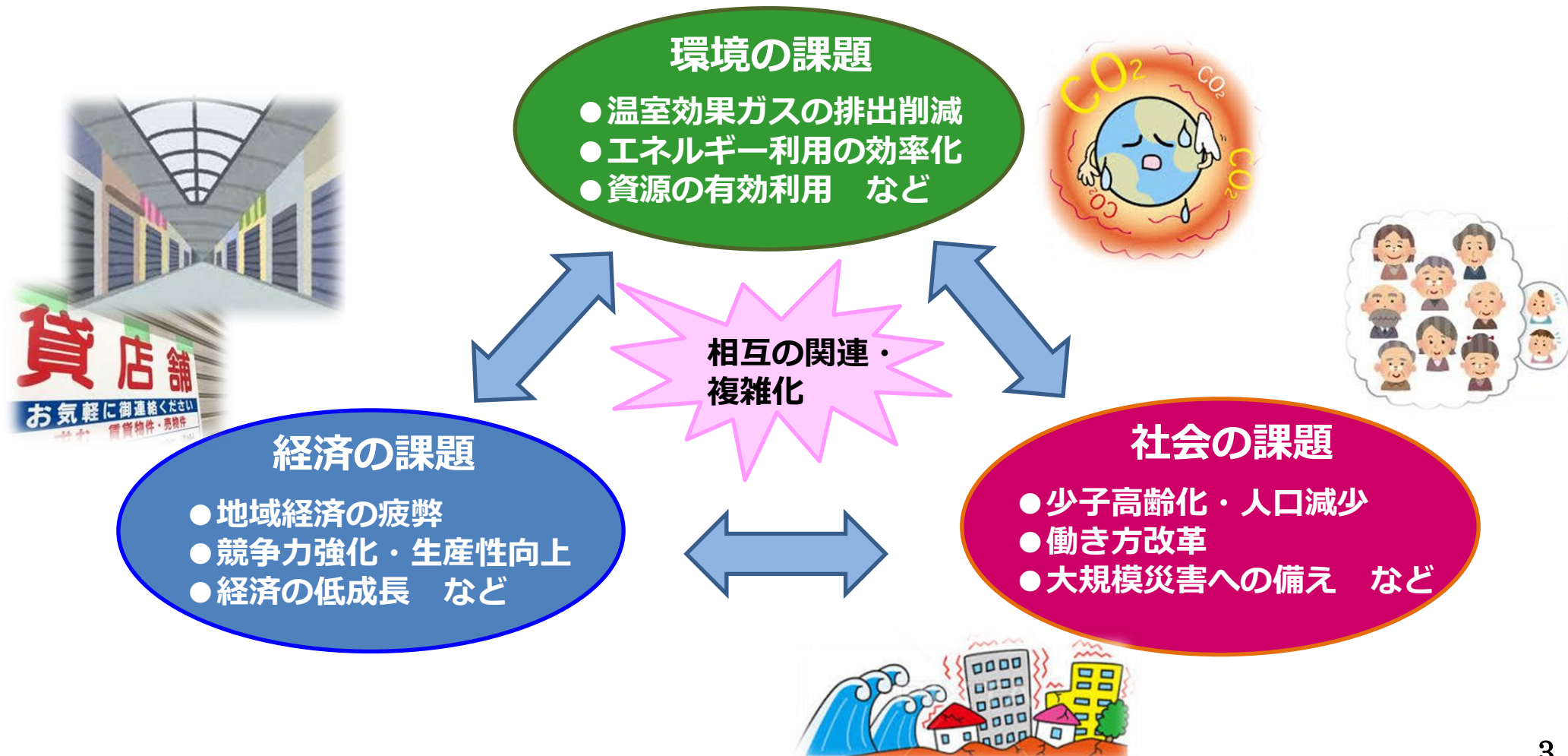
約**12.7**億個

SGH・グローバルネットワーク

海外**24**ヶ国・地域
100社以上



環境・経済・社会 の総合的向上が求められる！

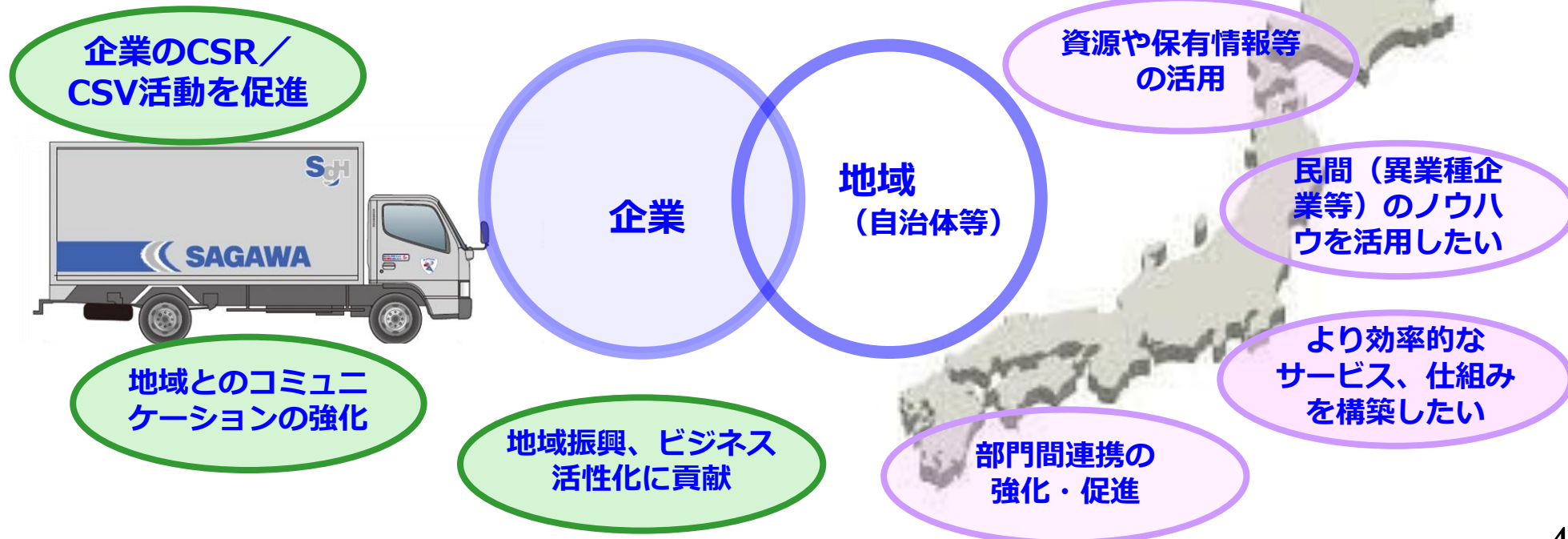


地域との連携事例（包括連携）

地域（自治体等）と企業が抱える社会課題等に対して、双方のリソースを活かして協力しながら課題解決に対応するための枠組み

- ① 企業のCSRやCSV活動との協働・コラボレーションにより社会課題の解決を図る
- ② 企業・行政間等が各々の得意分野を活かして、地域の活性化や地域サービスの向上に貢献する仕組みを構築する

お互いの持つ資源を有効活用



包括連携協定（提案事項例）

1 包括連携の目的

相互連携、協働により、地域の活性化及びサービスの向上を図る

2 連携事項（案）

- （1）観光振興及び観光情報の発信に関する事
- （2）地域産品の流通・販売支援に関する事
- （3）物流振興に関する事
- （4）地域防災と安心・安全に関する事
- （5）女性の活躍推進に関する事
- （6）子ども・青少年の育成に関する事
- （7）高齢者・障がい者支援に関する事
- （8）環境保全の推進に関する事
- （9）その他、地域社会の活性化等に関する事

物流インフラを活用し総合的に連携を推進



教育支援



交通安全



環境保全



災害対応



物流



観光振興



女性活躍



高齢者雇用促進 (現役社会推進)

主な取組み連携例

(1) 産業・観光振興に関すること

① 観光振興、需要促進

- ・観光・ビジネス客等の利便性向上
- ・地域交通と手ぶら観光の連携
(バス、鉄道等との貨客混載事業の検討)



② 産品・観光情報のPR

- ・県産品・観光情報の発信



(2) 防災・減災と暮らしの安全・安心に関すること

① 災害への対応

- ・災害時における支援物資・資機材等の輸送、物流仕分け、保管、配送等への協力
- ・BCP連携、交流の促進



(3) ダイバーシティの推進・働き方改革に関すること

① ダイバーシティの推進

- ・女性活躍に向けた取組の推進

② 働き方改革に係る取組の推進

- ・働き方改革に関する取組への参加・協力

③ 高齢者の社会参加や現役社会推進

- ・高齢者の就労支援・地域コミュニティ強化 (シルバーセンターなど地域の団体等と連携した配送の担い手として活用)



(4) 中山間地域の振興に関すること

① 交通インフラの利活用促進

② 中山間地等での見守り活動の実施



(5) その他地域社会の活性化

新たなテーマを相互に継続的に提案し、実施を検討

【事例1】手ぶら観光サービス

手ぶら観光サービス内容

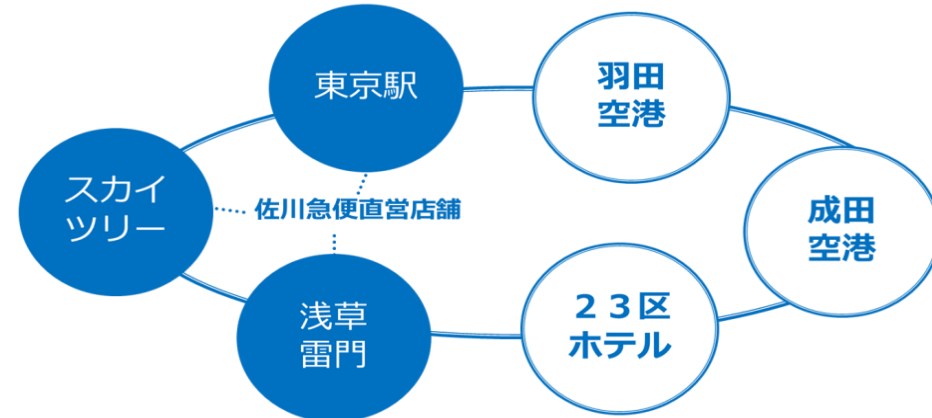


当社は、荷物を預かることにより訪日外国人旅行者へ快適な旅行環境を提供するべく取り組んでおります。



当社は、国策である【JAPAN HANDS-FREE TRAVEL】の認定運送事業社です

手ぶら観光サービス内容



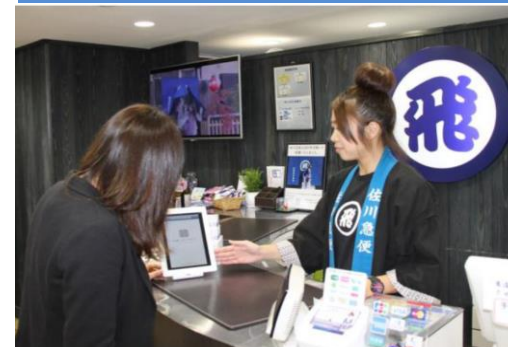
※荷物等の配送事例

※お客様対応

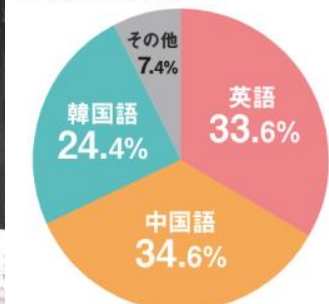
次世代翻訳システム「SGスマイルコール」導入

観光型施設は、多言語対応が可能です。バイリンガル人員の補助機能として、3言語翻訳システム「SGスマイルコール」を導入

英語・中国語・韓国語の3言語で93%の訪日外国人をカバー



外国人旅行者の使用言語



引用：日本政府観光局 (JNTO) 資料より抜粋

佐川急便の“手ぶら観光”で、楽しい旅行をもっと手軽に!

Have a relaxing and fun trip with Sightseeing Without Baggage by Sagawa Express!



FUKUOKA SERVICE CENTER

1階

3階

福岡空港国際線ターミナル
Fukuoka Airport International Terminal

博多デイトス 宅配サービスカウンター
Hakata DEITOS Delivery Service Counter

博多デイトス
Hakata Deitos

京都駅 宅配カウンター
Kyoto Station Delivery Counter

佐川急便 宅配カウンター

京都駅(JR新幹線南口コンコース)
Kyoto Station (JR Tokai Shinkansen Concourse)

TERMINAL GINZA 宅配カウンター
Terminal Ginza Delivery Counter

ギンザシックス
GINZA SIX

SHINJUKU SERVICE CENTER

バス新宿
Shinjuku Expressway Bus Terminal

東京スカイツリータウン サービスセンター
TOKYO SKYTREE SERVICE CENTER

東京スカイツリータウン®
Tokyo SKYTREE TOWN®

那覇空港 宅配カウンター
Naha Airport Home Delivery Service Counter

那覇空港国内線ターミナル
Naha Airport Domestic Passenger Terminal Building

福岡
FUKUOKA

京都
KYOTO

大阪
OSAKA

東京
TOKYO

神奈川
KANAGAWA

浅草雷門サービスセンター
ASAKUSA KAMINARIMON SERVICE CENTER

浅草雷門
ASAKUSA KAMINARIMON

TOKYO SERVICE CENTER

東京駅
TOKYO STATION

松山空港 宅配カウンター
Matsuyama Airport Delivery Counter

松山空港
MATSUYAMA Airport

Travel Service Center OSAKA 宅配カウンター
Travel Service Center Osaka Delivery Counter

JR大阪駅 1階
JR Osaka Station 1F

Osaka Station City Tourist Service Center 宅配カウンター
Osaka Station City Tourist Service Center Delivery Counter

JR大阪駅 3階
JR Osaka Station 3F

ららぽーと海老名 宅配サポートセンター
LaLaport Ebina Delivery Support Center

ららぽーと海老名
LaLaport EBINA

鹿児島中央駅
2018年1月~

S&H | SAGAWA 手ぶら観光サービス (駅等への施設展開)

主要な鉄道駅や空港等において、全国配送、手荷物預かりに対応した観光・ビジネス向けの小規模施設やサービスカウンターの展開を推進

東京駅『東京手ぶら観光手荷物預かり処』

東京駅「東京駅一番街」内



2014年3月オープン

営業時間 7:00~23:00
(新幹線始発~終電まで)
○多言語対応 (英語・中国語・韓国語)

浅草『浅草雷門サービスセンター』

浅草雷門 伝法院通り



2015年1月オープン

営業時間 9:00~19:00
○多言語対応 (英語・中国語・韓国語)

東京スカイツリー『宅配便手荷物一時預かり所』

東京スカイツリータウン内



2013年5月オープン

営業時間 9:00~21:00
○多言語対応 (英語)



手ぶら預かり処+免税カウンター



福岡空港国際線ターミナル内



京都駅構内 (手ぶら観光サービス/買い物サービス支援)

手ぶら観光サービス（イベント等）

様々なイベントに合わせて
臨時宅配カウンター出店が可能



マラソン大会

しまなみ海道サイクリング

佐川急便
しまなみ海道
手ぶら観光

2015年10月10日～
旅行会社タイアップ企画

自転車をホテル～ホテルに回送
することで、
「手ぶらサイクリング」を実現

営業時間0:00～21:00
受付締切時間20:00まで

岡山営業所 TEL084-953-8898
広島営業所 TEL0899-58-6260

長野善光寺御開帳

佐川急便
手荷物
一時預かり

2015年4月1日～5月31日まで
長野善光寺御開帳期間中に
手荷物預かりサービスを展開

4年に1度の御開帳期間中に
600万人以上訪れた善光寺で
手ぶら観光をご提供

※繁忙期対応や需要創出等の
ため、臨時宅配カウンター等
でサービスを実施

JR博多駅手荷物預かり

2012年～
JR博多駅構内で手荷物預かり
サービスを展開

「博多どんたく」などのイベント
や「大型連休中」の
人流増加時期に対応

Short-term bag
check service
일시보관 서비스
行李临时寄存服务



青森ねぶた祭り

MICE関連他にも多数実施



観光振興と交通インフラの連携

事例①

観光地等におけるバス会社との貨客混載（手ぶら観光）の推進

・ 訪日外国人旅行者向け広域観光の推進
(2017年8月～実証試験)

岐阜県高山市～長野県松本市の両都市間を結ぶバスを利用した貨客混載の実証試験を実施中。異なる県の間を連携する取組み。
環境対策、地域振興、利便性向上 等に効果

<p>訪日外国人旅行者向け 高山～松本でぶら観光 昇龍道で実証実験</p> <p>訪日外国人旅行者が日本の宅配送サービスを利用して、手ぶらで観光できる環境の定着に向けた取り組みを進める国土交通省は、中部運輸局と北陸信越運輸局管内の「昇龍道」と主要観光地である「高山」松本間での外国人旅行者の荷物の負担を軽減する高山～松本実証実験を8月28日から始めた。</p> <p>岐阜県高山市の古い町並みから上高地、乗鞍、</p>	<p>訪日外国人旅行者が日本、松本市の松本城などは、外国人旅行者に人気が高い。</p> <p>多くの旅行者は両都市間を結ぶ高速バスを利用して、途中上高地や乗鞍、新穂高などを訪れている。ただ手荷物預かり所やコインロッカーが不足しており、バスを下車するたびに大きな荷物を持つて移動することが大きな負担となっている。</p>	<p>この状況を踏まえ、中部運輸局と北陸信越運輸局は、実証実験として高速バスを利用した貨客混載の効果的な輸送体系を構築すること、従来の翌日配達となっていた高山～松本間の手荷物の当日配送を可能にする。今後は他地域・他区間でのサービス導入や、宿泊施設間配送、バスターミナルや手ぶら観光カウンターでの取り扱ひも視野に入れる。</p> <p>実証実験期間は8月28日から11月15日までの80日間。佐川急便やアルピコ交通、濃飛乗合自動車などが協力する。</p>
--	---	--

・ 自転車（サイクリング）観光におけるバス会社（3社）との貨客混載
愛媛県内のバス会社3社と連携した貨客混載（サイクリング等の手ぶら観光）。
環境対策、地域活性化、利便性向上、労働環境の改善 等に貢献

事例② 手ぶら観光（空港受取サービス）

Airport Limousine S&H | SAGAWA 2017年3月30日
東京空港交通株式会社
佐川急便株式会社

リムジンバス×佐川急便のコラボレーション
都心から成田空港へのリムジンバスに
空港への手荷物当日配送をセットしたサービスを開始します！
～手ぶら観光でらくらく空港アクセス！～

東京空港交通株式会社（本社：東京都中央区 社長：増井健人）と佐川急便株式会社（本社：京都府京都市 社長：荒木秀夫）は、両社のコラボレーションで開始する貨客混載事業による輸送の効率化、利便性向上等を図ることに伴い、都心と成田空港を結ぶリムジンバス乗車券と、成田空港への手荷物当日配送サービスをセットにしたお得な企画商品を2017年3月30日（木）から新たに発売いたします。

本商品を使用すると、スーツケース等の手荷物を成田空港まで当日配送することができ、お客様は好きな場所で手ぶら観光を満喫したあと、リムジンバスのネットワークを活かして最寄りのバス停から成田空港へ向かうことができます。バス運賃と手荷物当日配送料金を別々に支払うよりも、非常にお得な価格（3,600円）です。訪日外国人旅行者をはじめ多くの旅行者に、便利に、お得に手ぶら観光をお楽しみいただけます。

（1）概要
商品名称：「プレミアムハンスフリーパッケージ」

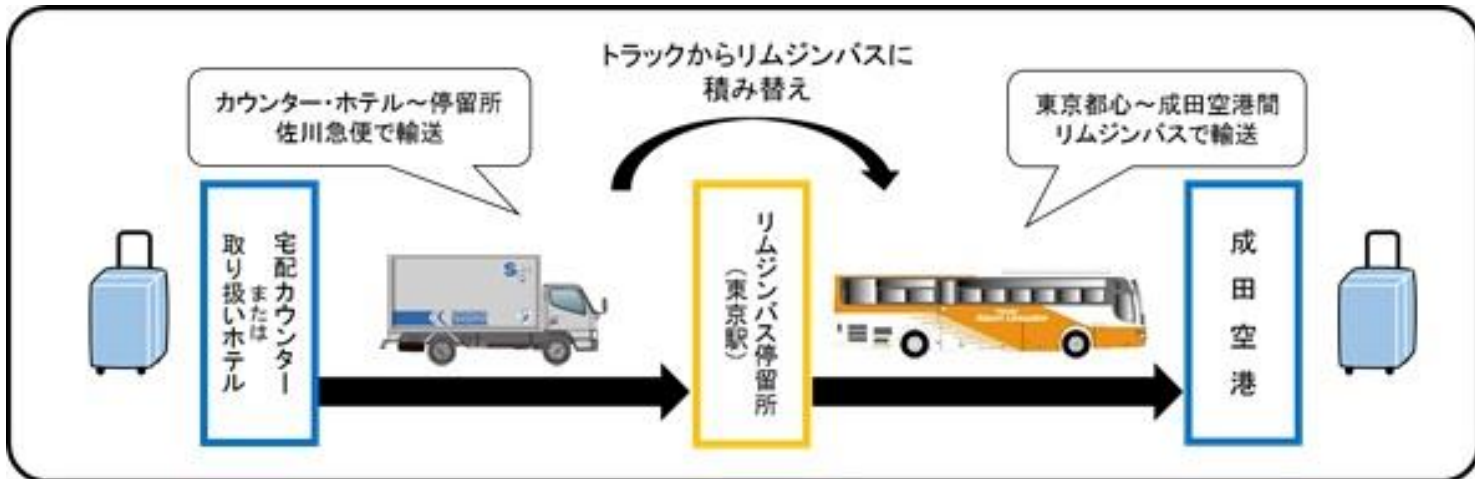
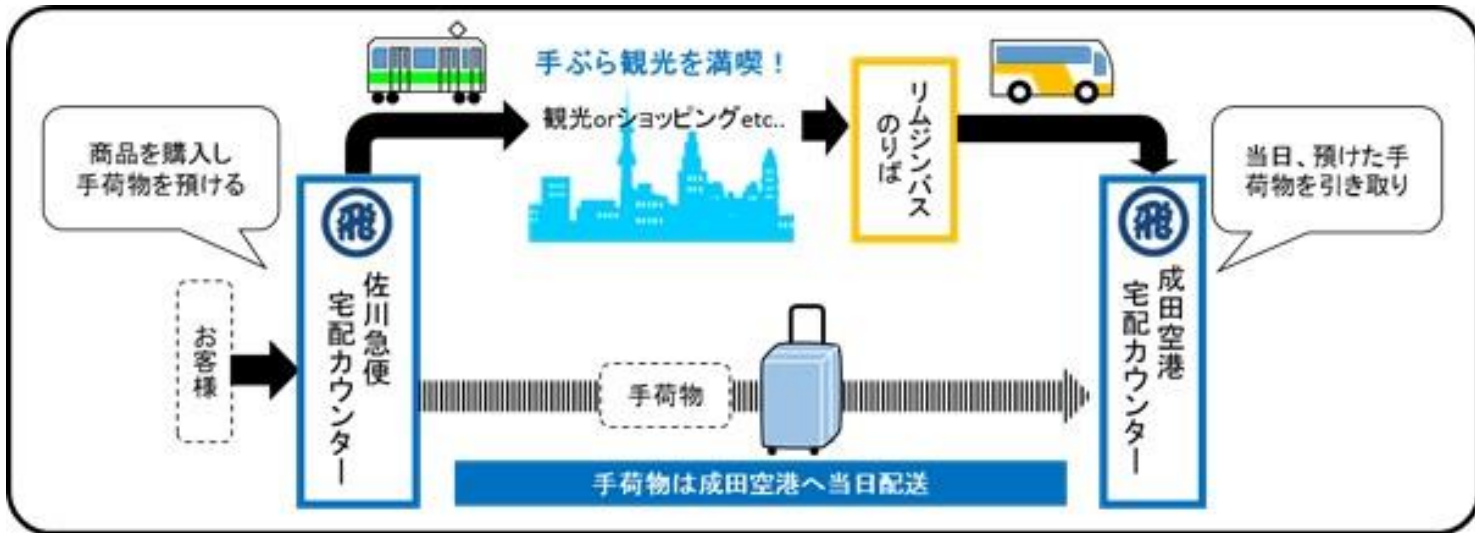
・ご利用方法

- ① 佐川急便宅配カウンター（東京駅、浅草雷門、東京スカイツリー）にて商品を購入する。
- ② 手荷物を預ける（成田空港受取ターミナルを指定）
- ③ お客様は手ぶら観光を満喫。
- ④ ご都合の良い都心のリムジンバスのりばから成田空港行に乗車。
- ⑤ 成田空港 QL ライナー宅配カウンターにて手荷物を引き取る。

※本セット券にてお預かり可能な手荷物はお一人様1個までです。

（2）発売額
大人・小人同額…3,600円（リムジンバス片道乗車券＋佐川急便手荷物当日配送サービス）

リムジンバス×佐川急便のコラボレーション ～手ぶら観光でらくらく空港アクセス～



モデルコース例



宅配カウンターからの搬送



リムジンバス荷物スペース

愛媛県との包括連携と貨客混載

- (1) 観光振興及び観光情報の発信に関すること
 - ・ 県内を訪れる観光客及びサイクリストの利便性向上に向けた手ぶら観光サービスの実施
 - ・ 「えひめ Free Wi-Fi」認知度向上に向けたPR
- (2) 県産品の流通・販売促進に関すること
 - ・ 県産品の高品質・低コスト流通に向けた輸送体系確立に向けた連携
 - ・ 中小企業の海外展開に対する流通面での支援
- (3) 地域防災と安全・安心に関すること
 - ・ 県総合防災訓練への協力
 - ・ 広域防災拠点（物資拠点）における改善点等についての助言
 - ・ 佐川急便が有する防災関連情報の提供
 - ・ 特殊詐欺被害防止に関する協力
- (4) 働き方改革の推進に関すること
 - ・ ひめボス宣言事業所への参画及び取組みの実施
 - ・ 女性活躍推進に向けた取組みの実施
- (5) 子ども・青少年の育成に関すること
 - ・ 通常業務を通じて知り得た子どもの保護に関する情報提供
 - ・ 緊急時の一時避難場所としての営業所等の活用
- (6) 高齢者・障がい者支援に関すること
 - ・ 障がい者に対する虐待・差別等を発見した際の市町窓口への通報
 - ・ 障がい者の権利擁護に関する県政出前講座の実施
 - ・ 認知症見守りSOSネットワークへの参画
 - ・ 認知症サポーター養成講座の実施
- (7) 環境保全の推進に関すること
 - ・ 廃棄物の不法投棄監視の協力
- (8) その他地域の活性化及び県民サービス向上に関すること
 - ・ 公共交通人材確保への協力
 - ・ 松山港発着の貨物の集荷支援、集荷コストの削減に向けた連携



NEWS RELEASE

2017(平成29)年9月8日

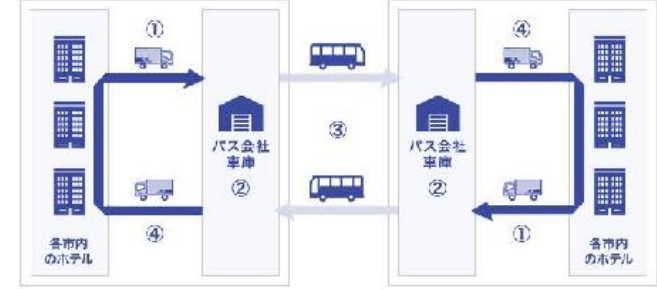
報道関係者各位

佐川急便株式会社

愛媛県内の自転車旅に新たな手ぶら観光サービス「バスパ」を開始
路線バス会社3社と共同で愛媛県初の貨客混載事業

SGホールディングスグループの佐川急便株式会社(本社:京都市南区、代表取締役社長:荒木秀夫)は、愛媛県内を自転車で巡る観光客を対象とした手ぶら観光サービス「バスパ」を伊予鉄道株式会社(本社:愛媛県松山市、代表取締役社長:清水一郎)、宇和島自動車株式会社(本社:愛媛県宇和島市、代表取締役社長:村重敏)、瀬戸内運輸株式会社(本社:愛媛県今治市、代表取締役社長:瀧山正史)の路線バス会社3社と共同で9月8日より開始します。なお、この取り組みは愛媛県で初めての貨客混載事業となります。

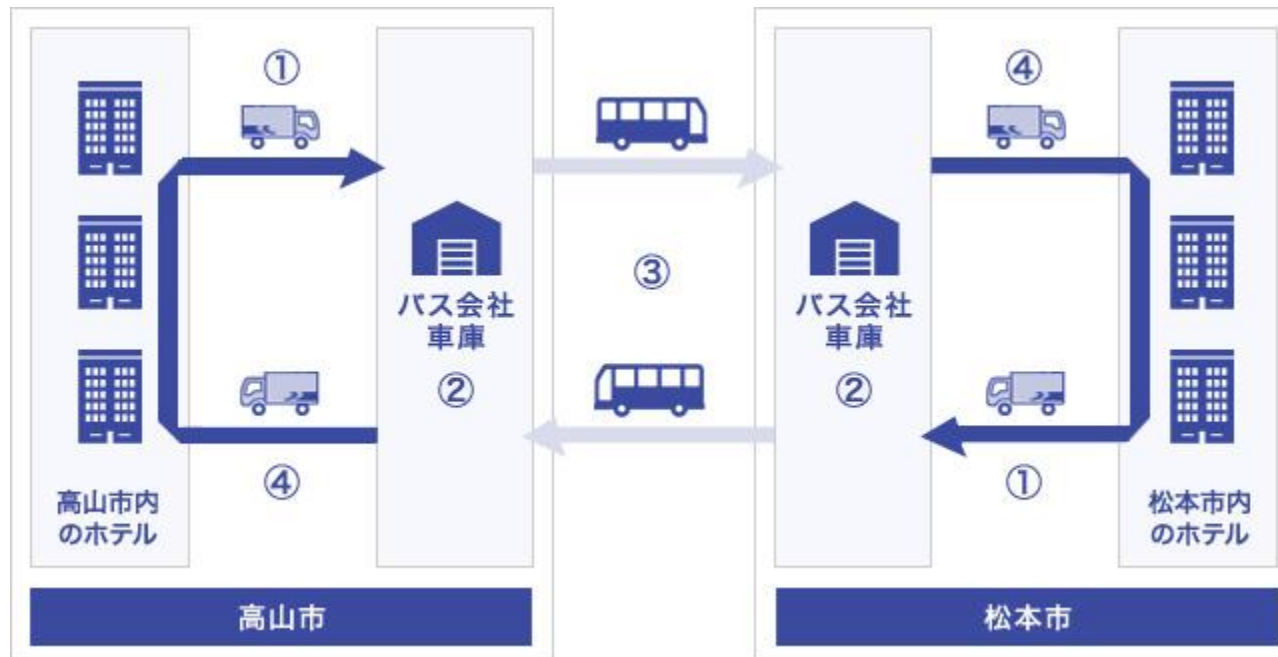
愛媛県内を巡る観光客は年々増加しており、中でもしまなみ海道を使用して愛媛県内を周遊するサイクリストが増加しています。コインロッカーを探す手間や大きな手荷物の持ち運びが不便なことなどから、サイクリングや周遊観光などの旅行を十分に楽しめないなどの観光客の懸念や広域観光の促進などにおいて課題がありました。観光振興の一環として、観光客やサイクリストの利便性向上に向けて、新しい手ぶら観光サービスを提供するものです。当社ではこれまでに、尾道～今治間の手荷物輸送を行うしまなみ海道手ぶらサイクリングを2015年5月から、また、松山空港～松山市内間の手荷物輸送を2016年8月から行ってきました。今回の新たなサービス「バスパ」は、しまなみ海道を利用して今治に来たサイクリストが愛媛県内各地に向かう際、あるいはその逆ルート、および松山市・八幡浜市・宇和島市・今治市間を観光する方の手荷物を輸送するもので、お預かりした手荷物は、路線バスの荷室に積み込み、各社の車庫で佐川急便のドライバーが手荷物を受け取った後にホテルなどの宿泊先にお届けします。当サービスを利用することで愛媛県を巡るサイクリストの手荷物に対する不安・心配を取り除くことができ、利便性の向上につながります。



- ①観光客がチェックアウト時に提携ホテルで預けた荷物を、当社ドライバーが集荷。バス会社の車庫で集荷した荷物を預ける
- ②バス会社の車庫で、各都市間の路線バスの荷室に手荷物を積み込む
- ③路線バスが各都市間を輸送
- ④バス会社の車庫で、送られてきた荷物を当社ドライバーがお預かりし、各市内の提携ホテルに届ける

高山市～松本市で貨客混載事業の実証実験

中部運輸局、路線バス会社2社と共同で手ぶら観光サービスを提供



- ①観光客がチェックアウト時に提携ホテルで預けた荷物を、ドライバーが集荷バス会社の車庫で集荷した荷物を預ける
- ②バス会社の車庫で、高山～松本間的高速バスに荷室に手荷物を積み込む
- ③高速バスが高山～松本間を輸送
- ④バス会社の車庫で、送られてきた荷物をドライバーがお預かりし、高山市・松本市内の提携ホテルに届ける

震災や災害で得た経験や教訓を活かす 佐川急便のBCP／BCM



- 社会インフラを担う**社会的責任**
- 支援物資等の供給体制の一翼を担う民間業者としての**社会的貢献**
- BCP（事業継続計画）の策定及び実効性あるBCM（事業継続マネジメント）の運用が出来ていないことが**SCM全体**に重大な影響を与える

佐川急便のBCP (リソース・事象に着目)

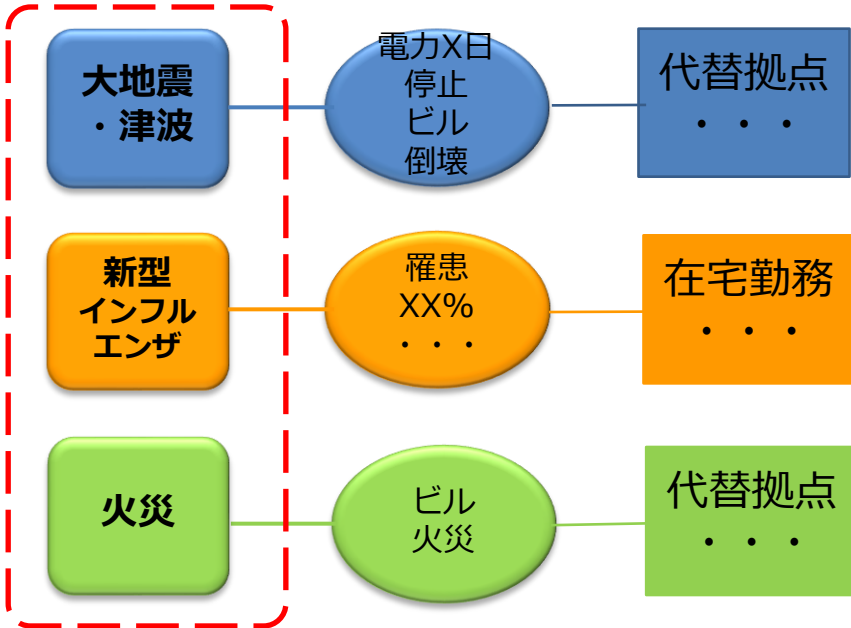
判断基準

従来の想定ごとの考え方

想定リスク

想定被害

アクション



想定リスクと想定被害が1対1で紐づくため、個別リスク毎にアクションを検討

⇒ 1つ1つ計画や文書が増える

⇒ 「想定外のリスク」や「想定外の罹災度合い」が発生

東日本大震災では一部機能せず、従来のアプローチの限界が顕在化

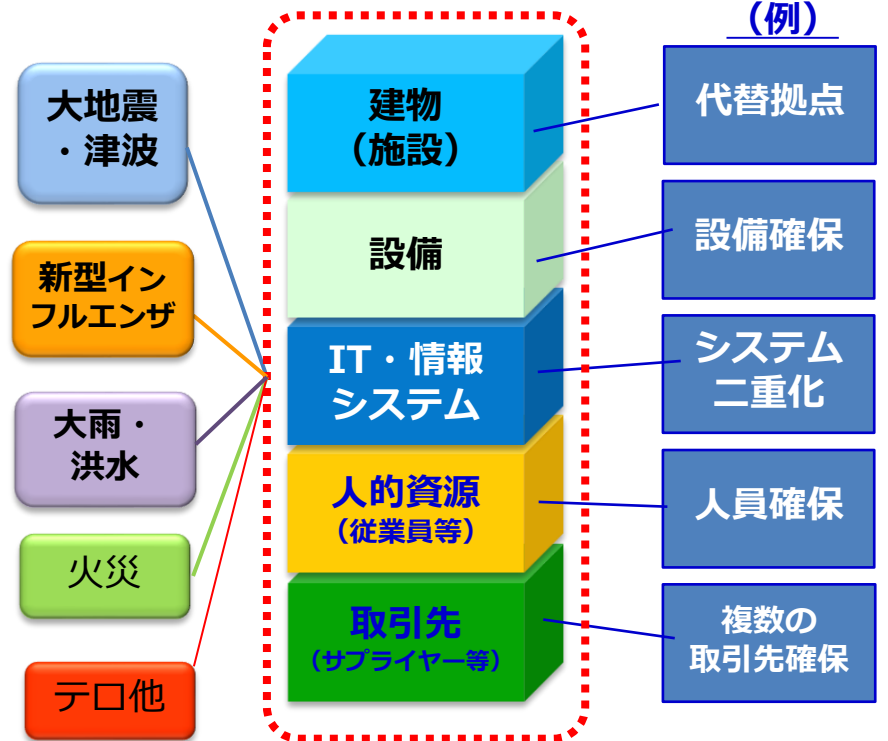
判断基準

BCPの考え方 (リソース・結果事象に着目)

想定リスク

想定被害 (リソース)

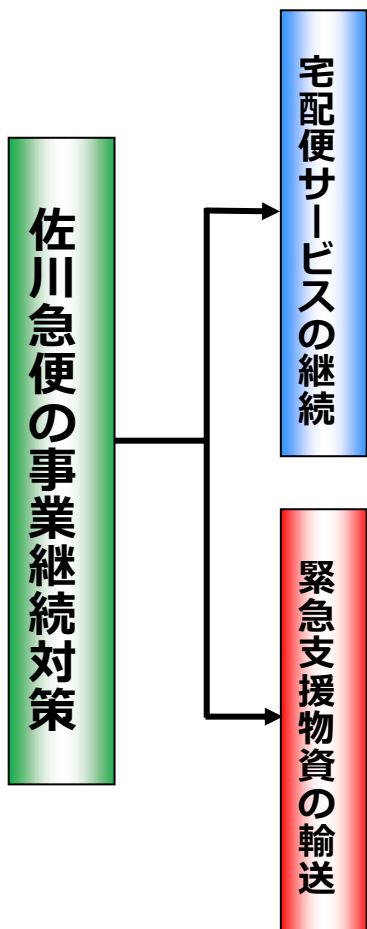
アクション (例)



リソースの被害状況を判断基準として対応を判断

⇒ 原因を問わず、被害状況に応じた対応が可能

佐川急便のBCP（重要業務と目標復旧時間）



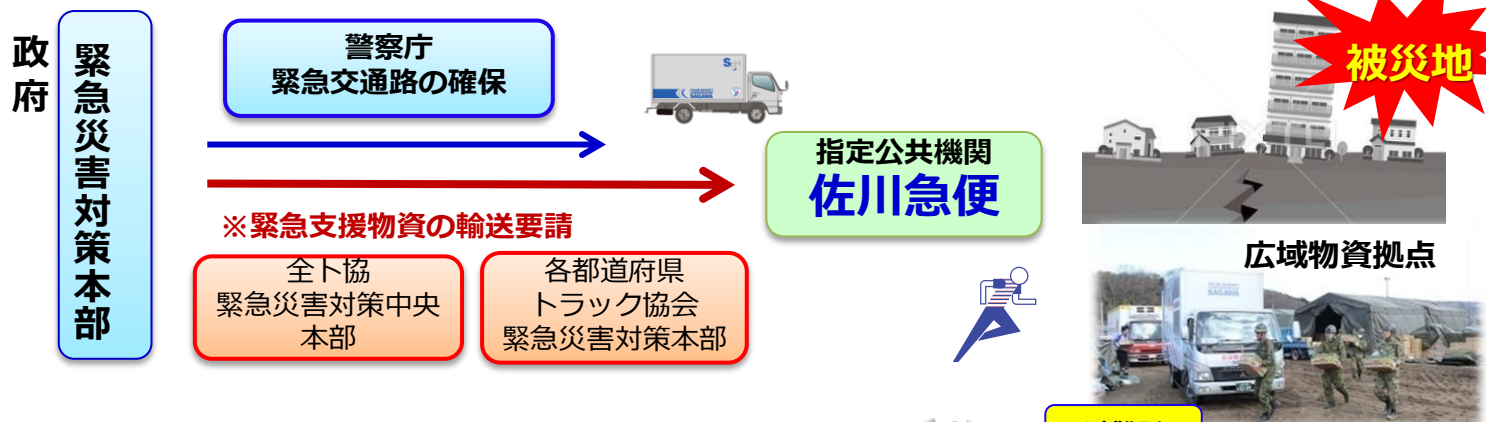
◆ 原則として宅配便の業務を中断させない

（災害発生地における目標復旧時間は 1日）

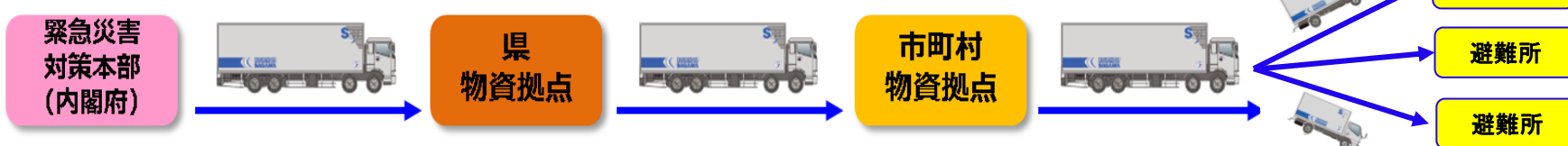
◆ 1週間以内の営業所受取サービス再開



◆ 24時間以内に緊急支援物資輸送体制を確立、速やかな実施



※緊急支援物資の配送フロー



BCP/BCM (ハード対策例)

自社スタンドの確保

全国**129拠点**に
合計約**2,870KL**のインタンク(軽油)を保有
常時、**70%**の燃料を維持するようルール化

その他、全国**22拠点**に
CNG自社スタンドも保有
(燃料の多様化)
天然ガストラック約**3,800台**



備蓄品の分散配備

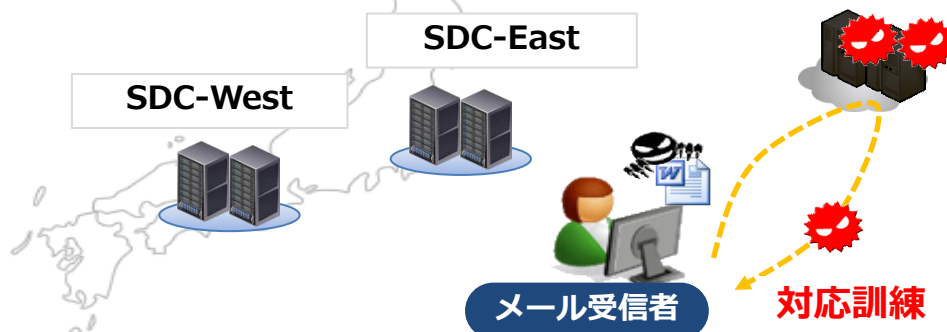
全従業員分(約**48,000名**)の
『水・食料・簡易トイレ・毛布』
を、全国都道府県に
1箇所以上、
全国に**1日分**を分散配備

※流動在庫の活用
※共同備蓄(検討中)



データセンター二重化/セキュリティ強化

データセンターを
西日本と東日本とで**二重化**
システムの継続稼働・復旧・バックアップを確立



中央防災無線網

中央省庁、地方自治体
や指定公共機関ほか
事業者と繋がる
「中央防災無線網」
に参画
無線電話・FAXでの
やりとりが可能

(各拠点にPHS、
衛星電話を配備)



燃料BCP

エネルギーの多様化で物流インフラ強靱化を推進

自社保有車両台数 24,564台 (2017年6月現在)

環境配慮とエネルギーミックスを両立

うち環境対応車 10,973台

天然ガス 3,723台 (うち大型5台)

ハイブリッド 366台

電気 16台

ポスト新長期規制適合車 6,868台
(クリーンディーゼル)



BCP/BCM (燃料供給対策例) ①

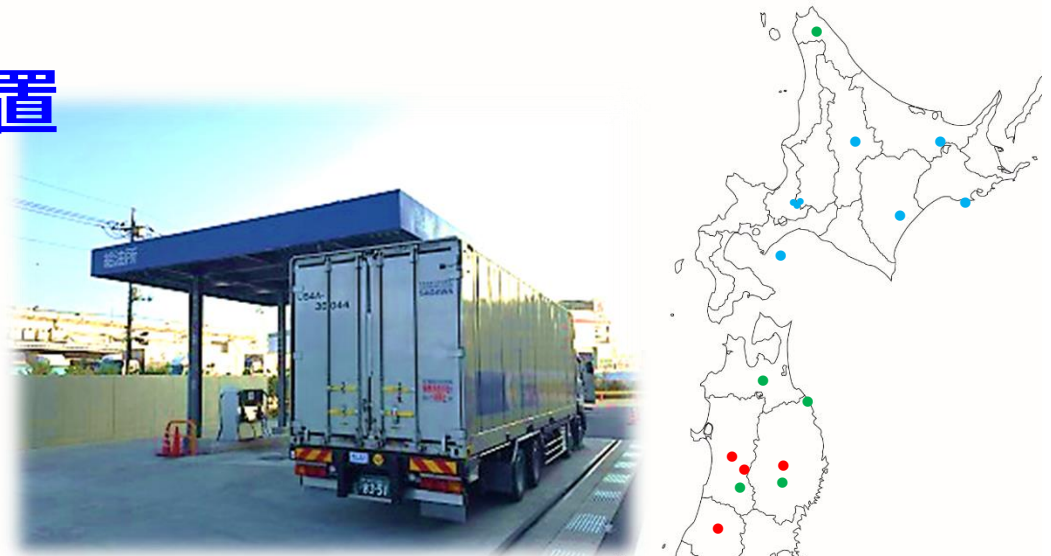
◆ 自家用軽油スタンドの設置

全国129箇所

(佐川急便営業所内) に

軽油スタンドを設置

計2,872KLの軽油貯蔵が可能



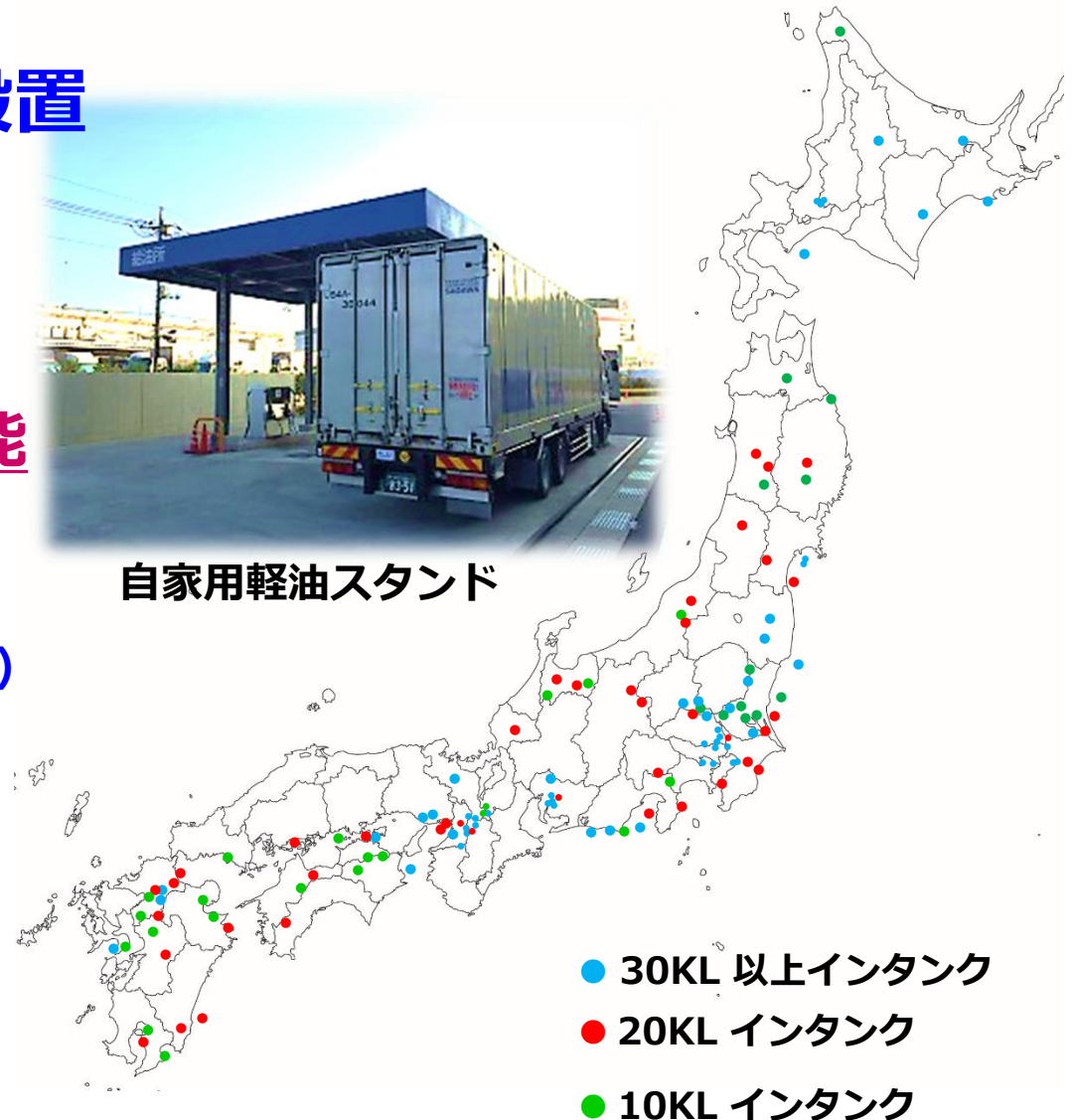
自家用軽油スタンド

◆ 電源喪失時の給油対策

(足こぎポンプをスタンドに設置)



燃料油ポンプ給油訓練

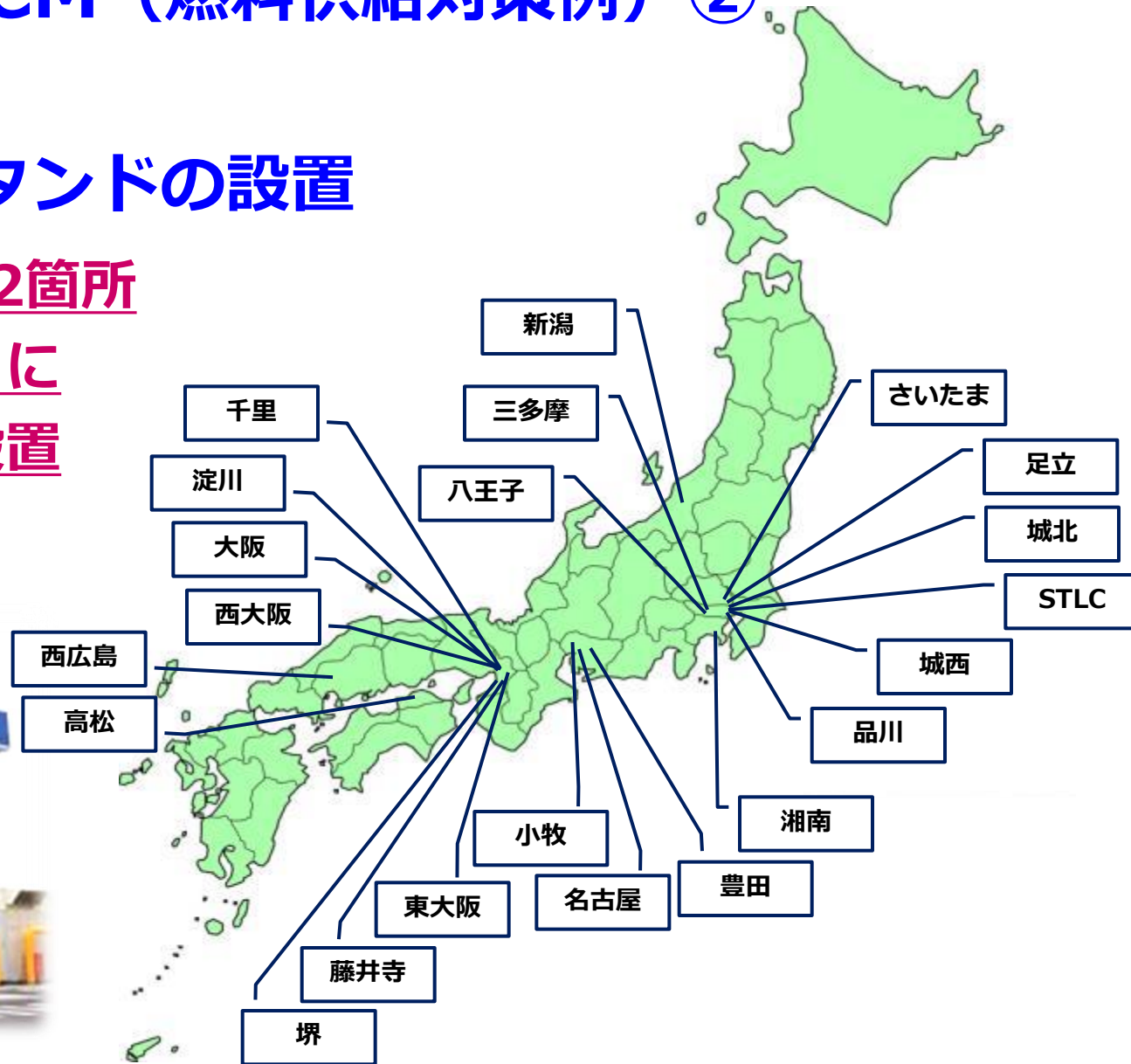


- 30KL 以上インタンク
- 20KL インタンク
- 10KL インタンク

BCP/BCM (燃料供給対策例) ②

◆ 自家用天然ガススタンドの設置

都市部を中心に全国22箇所
(佐川急便営業所内) に
天然ガススタンドを設置



BCP/BCM (ソフト対策例)

BCM推進体制

本社各部、本社東・西エリア、
18支店にBCM担当者を選任
本部参集者リスト等整備

危機管理担当取締役

リスクマネジメント課

東京本社各部

全国18支店 BCM担当36名

全国営業所 425所長

自社内訓練 (統括/現地対策本部、営業所、津波、新型インフル、安否確認など)

(営業所初動対応訓練)

- ・ 2015年度
425営業所453名参加
- ・ 2016年度
376営業所383名参加

(対策本部訓練)

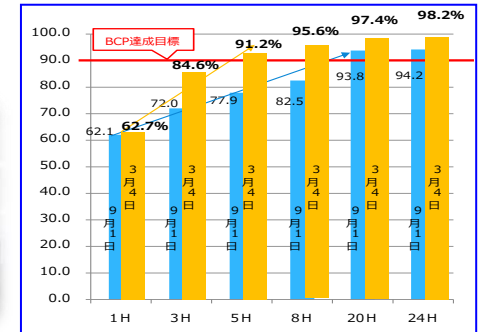
本社統括対策本部
支店現地対策本部
合同訓練など

(津波避難訓練)

津波避難場所・想定
浸水深表示を拠点に
掲示

(安否確認訓練)

3ヶ月に1回実施
24時間でほぼ100%



路線協力会社向け BCセミナー

幹線輸送を担う協力会社に
対し、BCPを普及促進



国・自治体との協定締結、協働訓練

事業所の津波避難場所協定、
地域包括協定などで連携強化

協定締結先、関西広域連合等
地方自治体との実働訓練



佐川急便・防災白書

自社の災害対応記録、被害額等
を白書化 (記録化)



各営業所に各種リスク情報や連絡体制等を揭示

(地域のリスク情報、過去の災害等を見える化、物流インフラ等体制確認)

A

拠点の基本情報一覧
・住所、TEL、PHS、
ハザードURL、緯度、
経度、人員、車両、
敷地情報、等

B

拠点の周辺地図、災害
時の避難施設の位置
など

C

- ・津波のリスク評価
- ・地震
- ・津波リスク評価
- ・水害、土砂災害、
液状化リスク、
火山、原子力発電所
との位置関係

リスクレポート (例)

基本情報

拠点番号 1
拠点名 本社
住所 東京都目黒区東山1-1
ビル名 東山ビル
郵便番号 153-0043
電話番号 03-5722-7600

① 所在地マップ 1/25,000

② 連立震度マップ 1/300,000

③ 洪水リスクマップ 1/25,000

④ 土砂災害警戒箇所マップ 1/25,000

⑤ 活断層マップ 1/1,000,000

⑥ 液状化マップ 1/75,000

⑦ 原子力発電所・火山マップ 1/1,500,000

⑧ 津波のリスク評価対比表

津波のリスク評価	津波の規模	500m	1,000m	5,000m	10,000m	15,000m
1	10m未満	5A	4A	3A	B	C
2	11m~20m	5A	4A	3A	B	C
3	21m~40m	5A	4A	3A	B	C
4	41m~60m	5A	4A	3A	B	C
5	61m以上	5A	4A	3A	B	C

⑨ 津波のリスク評価対比表

津波のリスク評価	想定震度	想定震度
1	震度6弱	震度6弱
2	震度6弱	震度6弱
3	震度6弱	震度6弱
4	震度6弱	震度6弱
5	震度6弱	震度6弱

⑩ その他のリスク

リスク	リスク	リスク
氷害	深リスクは想定されない	
土砂災害	土砂災害等の被災に注意が必要	
液状化	液状化の可能性は低いと想定される	
火山	火山の影響はほぼ想定されない	
原子力	放射線影響防護区域 (PPA) 外で隠れている	

⑪ コント

【地震】想定地震である「断層(内閣府)」の想定震度は震度6強となっているため、地震によるリスクは極めて高くなっています。当該エリアにおいて30年以内に地震が発生する確率(超過確率)は震度6弱が48%、及び震度6強が53%となっております。

【津波】周辺(20km圏内)に【活断層】(1km、海抜から海岸線から対象地点までの距離)は、津波の到達時間は8~10分と想定されることから、津波の到達リスクは高くかつ、【液状化】対象地点のリスクは、【想定地震(内閣府)】による液状化の可能性は高くなっています。

【水害】水害等による浸水想定区域(1km圏内)は、【土砂災害】土砂災害警戒箇所が付近に存在しますが、被災に注意が必要です。

【火山】火山灰の堆積の可能性が、【原子力発電所】原子力発電所の影響範囲(80km圏)外で隠れていますが、災害時は風向きにより注意が必要です。

データの出典

1) 所在マップ：国土交通省「経緯度データ(2012年、国土交通省)」
2) 連立震度マップ：内閣府「地震調査研究推進本部」地震調査研究推進本部「連立震度マップ(2012年、国土交通省)」
3) 洪水リスクマップ：国土交通省「洪水リスクマップ(2012年、国土交通省)」
4) 土砂災害警戒箇所マップ：国土交通省「土砂災害警戒箇所マップ(2010年、国土交通省)」
5) 活断層マップ：中野 真「中央文庫」(2007)「活断層データベース」(株式会社地産、製品シリアル番号：DAFM3029、活断層レイアウト図を使用)

D

- ・各種マッピング (震度、洪水ハザード、土砂災害警戒、活断層、標高、液状化、原子力発電所、火山)

E

- ・各リスクに対する総評
- ・災害データの出典元

水害リスク★1つ以上の拠点リスト (155営業所)

九州支店(7)	
久留米	★★★★★
南福岡	★★★
東福岡	★★★
みやま	★★★
日田	★★★★★
竹田	★
唐津	★

関西支店(11)	
大阪	★★★★★
住之江	★
此花	★★★★★
深江	★★★★★
大阪鶴見	★★★★
東大阪	★
藤井寺	★★★★★
淀川	★★★★★
明石	★★★
伊丹	★★★
姫路	★★

北陸支店(8)	
金沢	★★
加賀	★
福井	★★
敦賀	★
小浜	★★
丸岡	★★
大野	★★
黒部	★

東海支店(6)	
豊田	★★★★★
静岡	★★★
駿河	★★★
大井川	★★★
菊川	★★★
三島	★★★

神奈川支店(7)	
横浜鶴見	★★★★★
横浜駒岡	★
横須賀	★★
川崎	★★
川崎多摩	★★
厚木	★
平塚	★★★★

東関東支店(6)	
勝浦	★★★
野田	★★★
我孫子	★★★★★
筑西	★★★
潮来	★★★★
古河	★★★★

北海道支店(8)	
札幌	★
札幌東	★★★
札幌北	★★
小樽	★
倶知安	★★★
富良野	★
紋別	★
静内	★★★

南九州支店(6)	
南熊本	★★
北熊本	★★★★
人吉	★★
出水	★
延岡	★★
高鍋	★★★★

京都支店(11)	
新宮	★
奈良	★★
大和高田	★★
京都	★★★
京都南	★★★★★
山科	★★
八幡	★★★★★
京都精華	★★★★★
守山	★★
長浜	★★
豊岡	★★★★★

信越支店(5)	
新潟	★★★★★
越後吉田	★★★★★
長岡	★
柏崎	★
長野	★★★★★

関東支店(12)	
台東	★★★★★
品川	★★
城北	★★★★★
赤羽	★★★★★
大田西糀谷	★★
荒川	★★★★
中野弥生	★
足立	★★★★★
足立西保木間	★★★
世田谷	★★
千代田	★★★
文京	★★★★

西関東支店(3)	
三多摩	★★
府中	★★★★
山梨	★★

南東北支店(11)	
仙台	★★
仙台南	★★★
古川	★★★
石巻	★★
白石	★★
東仙台	★★★
若柳	★★★★
いわき	★★
会津若松	★★
相馬	★★★★
酒田	★★★★★

航空・中継(5)	
九州航空	★★
北海道航空	★★
八幡C	★★★★★
一宮C	★
札幌C	★★

四国支店(6)	
丸亀	★
松山	★★
大洲	★★★★★
徳島	★★★
池田	★★★★★
阿南	★★★

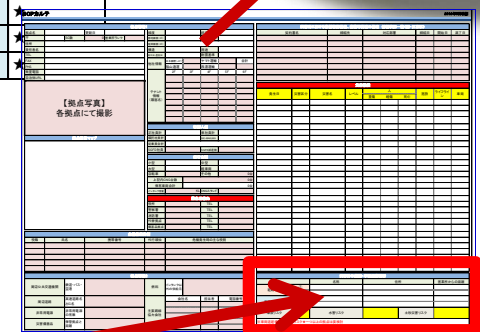
中京支店(14)	
名古屋	★★★
名古屋守山	★★★★★
一宮	★
港	★★★★
佐屋	★★★★
名古屋西	★★★★★
名古屋小田井	★★★★★
松阪	★★★★
伊勢	★★
岐阜	★★★
柳津	★★★★★
羽島	★★★★★
本巣	★★
関	★★★★

中国支店(10)	
福山	★★★★★
三原	★★★★★
福山北	★
雲南	★★★★★
出雲	★★★★★
島根大田	★★★★
津山	★
高梁	★★★★★
徳山	★★★★
鳥取	★★★★

中国支店(10)	
福山	★★★★★
三原	★★★★★
福山北	★
雲南	★★★★★
出雲	★★★★★
島根大田	★★★★
津山	★
高梁	★★★★★
徳山	★★★★
鳥取	★★★★

北関東支店(12)	
越谷	★★★
川口	★★★★
久喜	★★★★
さいたま	★★★★
岩槻	★★
戸田	★★
熊谷	★★★★
羽生	★★★★
足利	★★
芳賀	★
群馬	★
前橋	★★

北東北支店(7)	
大曲	★★★★
三陸	★
大船渡	★★★★
久慈	★★★★
釜石	★★★★
八戸	★
五所川原	★



BCPカルテ
(営業所に
掲示)

【リスクレポート浸水リスク評価基準】

- ★ 浸水リスクは低い
- ★★ 女性や高齢者は歩くのが困難。外開きのドアが開かなくなる
- ★★★ 大人の腰まで浸かる。歩くのが困難な状況
- ★★★★ 家屋1階の軒下まで浸水
- ★★★★★ 家屋1階の軒下以上が浸水

車両退避場所については「浸水リスク評価基準★」以上の営業所で場所を設定 → 気象条件に応じて車両退避の準備

災害・防災・その他有事に役立つ各種情報を一元化したプラットフォームの構築

情報発信の迅速化・効率化

危機管理意識の向上

災害カード

災害時の対応方法等を周知

安否確認システム

従業員の安否を確認

緊急情報システム

被害情報の収集

緊急・災害情報通知

災害状況の共有
災害に対する注意喚起

気象情報

異常気象等の情報収集
洪水危険度の確認

お知らせ掲示板

自治体訓練参加等
取組みや活動状況の共有



国交省・さいたま市との共同訓練

2018年1月11日（木）



2017年7月に発生した九州北部豪雨により、甚大な被害を受けた福岡県朝倉市。佐川急便は市からの要請に基づき、避難所への支援物資の輸配送のみならず、支援物資集積拠点の管理・運営、物資の保管・入出荷、コールセンター等のサポート業務を、総合的かつ一体的に実施

Sg logistics

「佐川グローバルロジスティクス」
支援物資の入荷・保管・出荷管理



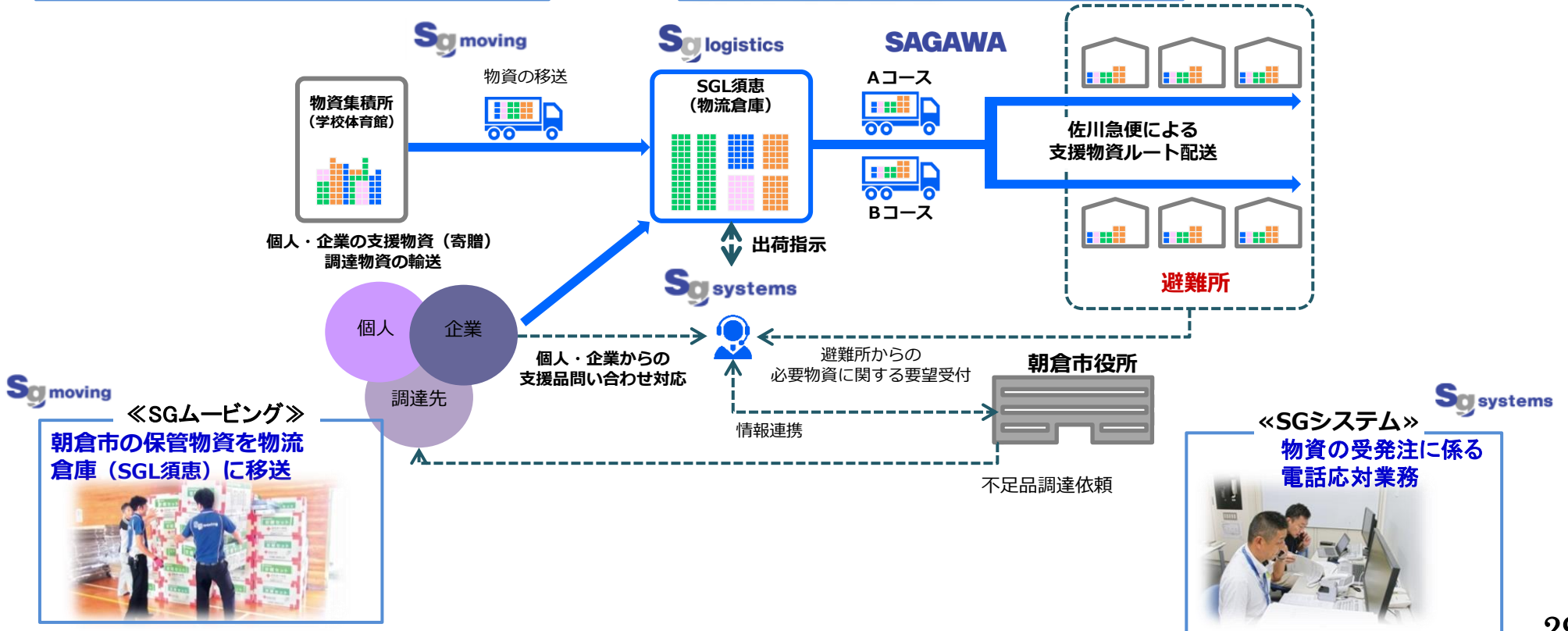
「佐川急便」

開設された各避難所へ、1日2回物資を輸送



SAGAWA

※参考
(実施期間における佐川急便の輸配送従事者及び使用車両数)
延べ213名、延べ107台 (2t)



Sg moving

「SGムービング」
朝倉市の保管物資を物流倉庫 (SGL 須恵) に移送

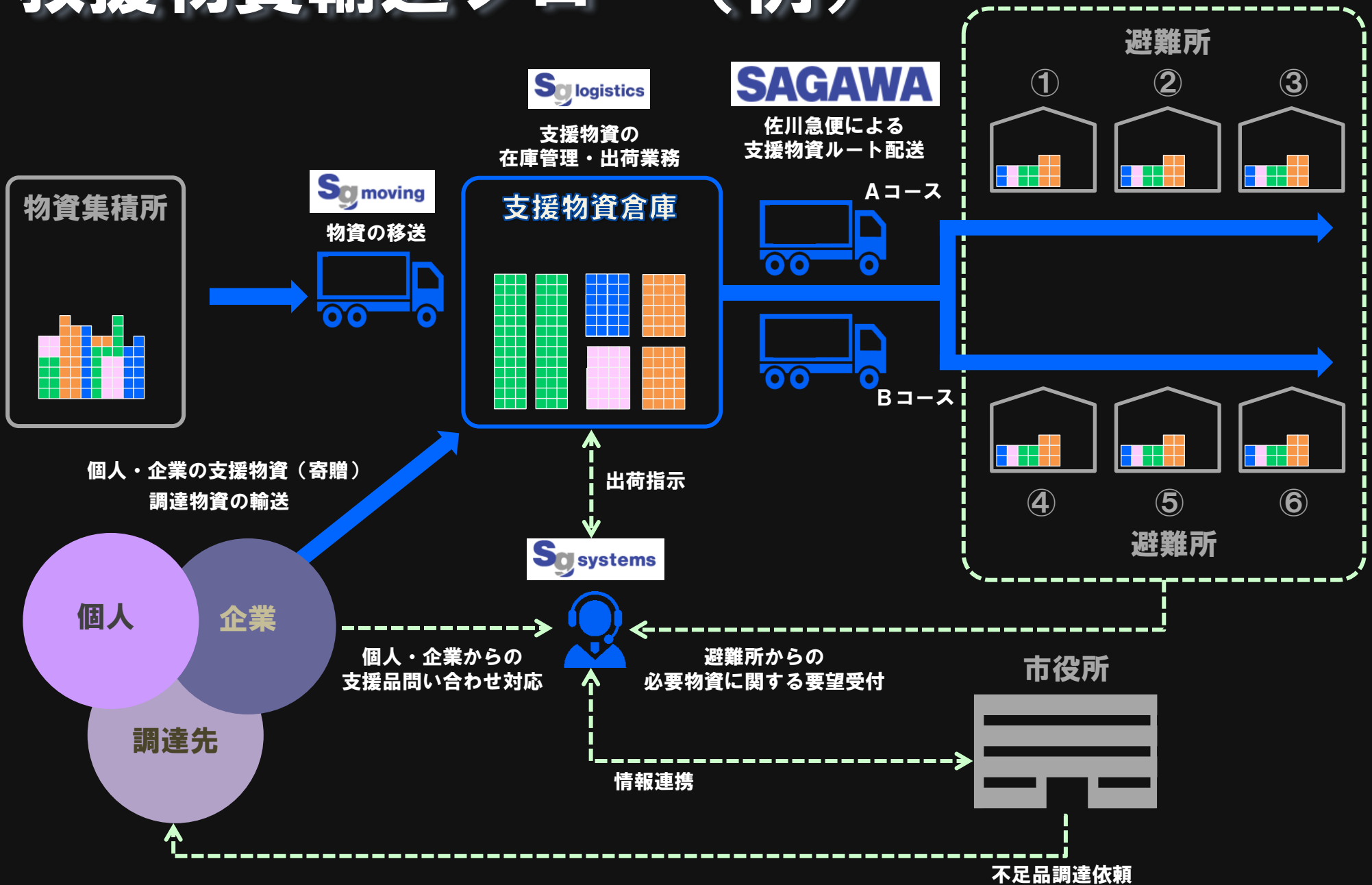


Sg systems

「SGシステム」
物資の受発注に係る電話対応業務



救援物資輸送フロー（例）



BC企業交流会／BC研究会の実施

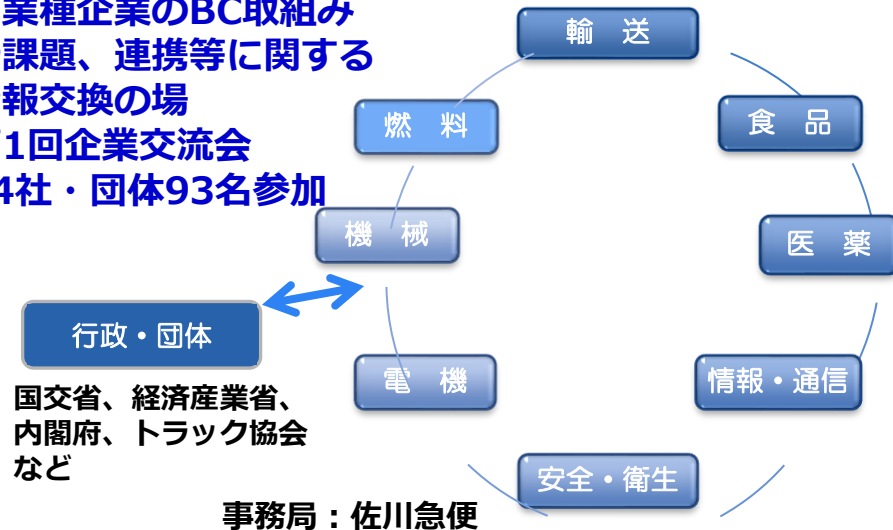
佐川急便は、大規模災害、新型インフルエンザなど様々な不測の事態が発生した際に、**事業に与える影響を最小化し、事業の中断を防ぐこと（事業継続）を目的に**、BCPを策定し、さらに事業継続の実効性を高めていくため、大規模災害訓練やBCP関連対策などを積極的に行っている。このような自社（及びグループ内）における継続的なBCPの取り組みは重要であるが、併せて、**国や地方自治体、他企業・業界などとの対外的な連携、協働も必要**である。

そこで、BC連携を期待する企業・行政等との関係構築を図るため、**BC企業交流会**を開催し、異業種（分野）の各企業における取り組みや課題等について情報交換するとともに、共通課題の解決や協力関係の深化を図る。また併せて、具体的な協働事業やBCP関連ビジネス促進に向けて、テーマ別に**BC研究会**を実施している。



実施スキーム

- ※異業種企業のBC取組みや課題、連携等に関する情報交換の場
- ※第1回企業交流会
54社・団体93名参加



BC研究会

- 事例報告等 ←
- 課題等テーマ
- * テーマ①：物流と気象
- * テーマ②：備蓄品の利活用
(共同備蓄、再利用等)
- * テーマ③：BCP教育・訓練方策

※テーマ毎に開催。課題解決や具体的なビジネス促進に繋げる

BC研究会の開催



「①BC研究会（物流と気象）」

荷物の到着時間をより正確に！をテーマに、道路管理者、鉄道、内航、物流事業者、荷主らと意見交換を実施（ウェザーニューズ社と共催）



「②BC研究会（BC訓練・教育）」

- 大規模災害等の訓練・教育のあり方
- 共同訓練の実施、あり方
- 各業界ごとの訓練シナリオを本会の成果物として、作り上げ業界内・各社内での訓練や教育に活用できたら有用

「③BC研究会（備蓄品の利活用）」

- 行政・地域社会・企業等で協力した備蓄品の共同保有、相互補完の連携促進
- 賞味期限入替需要での、廃棄品の肥料化・飼料化など循環型処分先のニーズ・デザイン化

「BC企業交流会」及び「事業継続・大規模災害対応訓練」

1 目的

実効性のある事業継続（BCP/BCM）対策に向けて、自社（及びグループ）内の取り組みだけでなく、国や自治体、関連企業などステークホルダーとの連携、協働も重要である。

そこで、BCP/BCMに関して連携を期待する企業・行政等との関係強化・促進のため、BC企業交流会を開催し、異業種（分野）の各企業における取り組みや課題等について情報交換するとともに、共通課題の解決や協力関係の深化を図る。

また、危機発生時の対応力強化に向けて、大規模災害対応訓練を実施する。



2 開催概要

開催日時：2018年2月7日（水）13：00－18：00

開催場所：佐川急便(株)東京本社 2F大会議室

プログラム：

【第1部】BC企業交流会

参加者：異業種企業（製造、流通、機械、エネルギー等）の危機管理部門等担当者 約50社

【第2部】事業継続・大規模災害対応訓練（南海トラフ想定、シナリオ型訓練）

参加者予定：関係自治体、全日本トラック協会、荷主等企業

（佐川急便）役員、執行役員・部長、支店長、（SGHグループ事業会社）BCM担当
オブザーバー：国、自治体



自治体との包括連携協定とBCP企業交流会①



2016年3月29日

報道関係者各位

京 都 府
佐川急便株式会社

京都府と佐川急便が「地域活性化包括連携協定」を締結
～ 京都府の地域活性化と府民サービスの向上を目指して ～

京都府（知事：山田 啓二）と佐川急便株式会社（本社：京都市南区、代表取締役社長：荒木 秀夫 以下「佐川急便」）は、京都府の地域活性化と府民サービスの向上を目的とした「地域活性化包括連携協定」を締結し、3月28日11時に京都府庁において締結式を行いましたので、お知らせいたします。

1. 背景

京都府は、日本を代表する古都であり、平安の昔より日本の中心となってきた地域です。最北部には日本三景の一つとして名高い天橋立を擁する丹後半島があり、かつて軍港として栄えた舞鶴もあります。清水寺など数多くの世界文化遺産も有するほか、西陣織をはじめとする伝統工芸でも著名です。さらに、こうした伝統産業や文化が新たなイノベーションを生み出す先端産業の揺籃の地でもあります。京都府では、この多様な力を結集することにより、府民安心の再構築、地域共生の実現、京都力の発揮を目指して、様々な施策に取り組んでいます。

佐川急便は、1957年、京都において飛脚業として創業しました。2010年6月には、京都の素晴らしい街が凝縮された街、祇園に「祇園佐川急便」（祇園サービスセンター）を開設し、従来のサービスセンターとしての機能とともに、祇園を訪れる人々へ京都の魅力を発信する拠点としても展開しています。京都で創業した地元企業として、地域の皆様のお役に立てよう「京のおもてなしの心」で高品質なサービスの提供に努めています。

このたびの協定締結を契機に、京都府と佐川急便は、相互の連携・協働を強化することにより、地域の諸課題に対応し、京都府の地域活性化と府民サービスの向上に取り組んでまいります。



締結式の模様


※京都府と佐川急便との地域活性化包括連携協定に基づく具体的連携事項

- 1 地域防災と安心・安全に関すること
→京都BCPの取組への協力、災害時における救援物資の集配・仕分け・保管・輸送等
- 2 観光振興及び観光情報の発信に関すること
- 3 京都府産品の流通・販売促進に関すること
- 4 子ども・青少年の育成に関すること
- 5 高齢者・障がい者支援に関すること
- 6 環境保全に関すること




京都BCP企業交流会
2017年2月28日（火）開催
（於：京都府）

自治体との包括連携協定とBC企業交流会②



NEWS RELEASE



2017年5月19日

山口県
佐川急便株式会社

山口県と佐川急便が地域活性化包括連携協定を締結
～ 山口県の地域活性化と県民サービスの向上を目指して ～

山口県（知事：村岡 嗣政）と佐川急便株式会社（本社：京都市南区、代表取締役社長：荒木 秀夫）は、山口県の地域活性化と県民サービスの向上を目的とした「地域活性化包括連携協定」を締結し、5月18日、山口県庁において締結式を行いましたのでお知らせします。

1. 背景

三方を海に開かれた山口県は、瀬戸内海の多島美と日本海の青い海、秋吉台や角島等、豊かな自然と魅力的な景観を有しています。

また、源平合戦や明治維新など、日本の歴史を大きく変える転換点の重要な舞台ともなったことから、「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産にも登録された「松下村塾」など、多くの歴史・文化遺産にも恵まれています。

山口県では、平成30年が明治改元から150年の節目の年となることを契機に、幕末・明治期の未知の時代を切り拓き、急速な近代化を成し遂げた先人たちの「志」と「行動力」を学び、これを今に活かし、未来へつなげていくための様々な取組を、『明治150年プロジェクト「やまぐち未来維新」』として展開しており、平成30年には、このプロジェクトの中核イベントとなる「山口ゆめ花博」を開催することとしています。

佐川急便は、総合物流企業として国内外の拠点とネットワークを有し、多種多様な物流ニーズに対応しています。保有する資源やノウハウを活用し、地域経済の活性化や課題解決に寄与するための活動も積極的に進めています。観光振興については、国内の観光客やビジネス客、訪日外国人観光客の利便性向上を目的に「手ぶら観光」を促進しています。東京駅、浅草、東京スカイツリー、JR大阪駅、福岡空港などに宅配カウンターを設置し、「手ぶら観光」サービスの拠点を拡大しています。農商工振興については、地場産物の製品や農水産物の物流改善ならびに輸出促進など、新たな価値の創造や最適なソリューションを提供しています。さらに、社会インフラの一つである物流を担う企業として、高齢者等への見守り活動や災害時における物資の輸送協力など、地域の安全・安心に資する活動も行っています。

本協定の締結を契機に、山口県と佐川急便は、県民の皆さまへの多様なサービスの創出や地域活性化に取り組んでまいります。

※山口県と佐川急便との「地域活性化包括連携協定」に基づく具体的連携事項

1 地域防災と安心・安全に関すること

- ・ 災害時における救援物資の輸送等
- ・ 企業BCPの啓発普及、及びSCMを支えるBC企業連携の推進
- ・ 地域の暮らしの安心・安全の確保
- ・ 防犯CSR活動の実施

2 明治150年プロジェクトに関すること（PR活動等）

3 中山間地域対策に関すること

4 観光振興に関すること

5 県産品の流通・販売促進に関すること

6 女性の活躍推進に関すること

7 子ども・青少年の育成に関すること

8 高齢者・障がい者支援に関すること

9 環境問題に対策に関すること

10 健康づくりの推進に関すること



山口県BCP策定セミナー
2018年1月26日（金）
（於：山口県）

【企業連携事例①】 防災アラートの導入、閾値の検討

①冠水等警戒情報

大雨や河川水位に関する情報を用いて、利用者が登録した地点の観測データが基準値を超えた際に、警戒を呼びかける情報を提供するもの
 さらに当社営業所（エリア）等で、過去冠水した時の気象条件や河川水位等のデータを活用、蓄積することで警戒情報の精度をさらに向上するための取り組みを研究・トライアル中

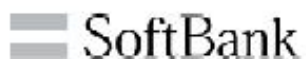
②ゲリラ雷雨予報

気象解析・予測をもとに「ゲリラ雷雨」発生の可能性あるエリアを県単位まで絞り込み、当該エリアのゲリラ雷雨防衛隊（サポーター）からの情報（雲の色、雲の距離感、雷の有無等々の画像データ）を収集・解析し、早期にアラートを配信することで、ゲリラ雷雨による被害の軽減を目指す。



【企業連携事例②】

BC協定の締結



NEWS RELEASE

2016(平成28)年11月29日

報道関係者各位

ソフトバンク株式会社
佐川急便株式会社

ソフトバンクと佐川急便が事業継続 (BC) 協定を締結

～被災時における通信機材や支援物資の運送において協力し、迅速な被災地支援を実施～

ソフトバンク株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：宮内 謙、以下「ソフトバンク」）と佐川急便株式会社（本社：京都市、代表取締役社長：荒木 秀夫、以下「佐川急便」）は、災害などにおける事業継続 (BC) の実効性を高めるとともに、大規模災害などにおける被災地支援を、迅速かつ円滑に実施するため、「事業継続(BC)及び災害被災地支援に関する相互協力に関する協定」（通称：BC協定）を本日締結いたしました。

本年4月に発生した平成28年熊本地震において、両社は通信および物流という重要なインフラ事業者として、被災地の支援を実施しました。その経験から、事前の備えや企業間の相互連携・協力の必要性、重要性を再認識したことにより、災害時における事業の継続性の確保ならびに被災地の住民や企業などの安心・安定に資することを目的に、以下内容の相互協力協定を締結いたしました。

【主な相互協力内容】

- ・被災時における通信関連の資機材・支援物資などの運送、荷役作業
- ・荷役作業に必要な保管スペース、人員および資機材の提供
- ・被災地支援用の通信端末の配送などの対応
- ・通信機材を運搬する車両などの駐停車場所の提供および優先的な燃料供給

ソフトバンクと佐川急便は、重要な社会インフラを担う企業としての役割を認識し、さまざまな事態においても早期に事業回復を図り、地域に貢献できるよう、危機対応力強化に向けた取り組みを積極的に推進してまいります。

BCP策定プロセス（例）

※目標や規模、事業内容等に応じて。実態に合わせて。実効性あること・・・

Phase1: BCP(事業継続計画)策定フェーズ

Step1 基本方針立案

- BCPの観点からみた現状の主要な論点の整理
- チェックリスト等を用いた課題抽出
- BCPの深度・方向性に関する検討等
- 上記を踏まえた基本方針策定

Step2 BIA:ビジネス ・インパクト分析

- 優先度の高い事業やサービスの明確化
- 業務の棚卸しと重要業務の特定
- RTO(目標復旧時間)の検討
- 重要業務におけるリソースの洗い出し

Step3 対応方針検討

- RTO実現(目標復旧時間)に向けた対応方針、及び実行計画の策定
- 対策導入に関する概算見積
- 初動対応の検討

Step4 BCP基本計画策定

- BCP基本計画の策定
 - グループ基本方針(想定リスク、BCP達成目標、等)
 - 初動対応方針(安全確保、対策本部、等)
 - 重要業務継続方針(重要業務選定、業務継続方針等)

Phase2: BCM(事業継続マネジメント)体制構築フェーズ

Step5 事業継続対策の導入

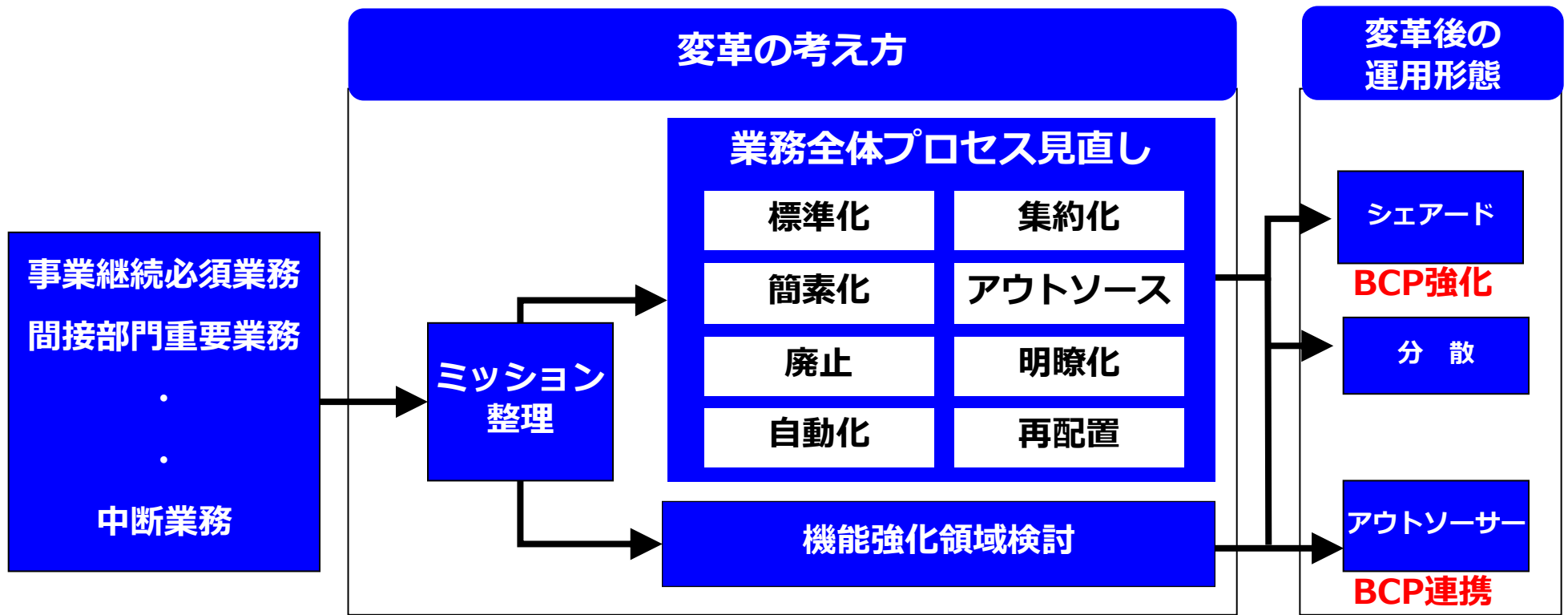
Step6 教育・訓練実施

Step7 BCP見直し・改定

BCP策定と業務変革プロジェクト

業務変革プロジェクトの実施とBCP/BCMの策定・運用

業務のBIA実施に伴って見えた間接業務の課題を、標準化・集約化・外部化・自動化など8つの観点で業務全体のプロセス見直しを行い、BCP/BCMの策定・運用を図ると同時に、業務の品質およびコストの効率化を実現



【事例3】 貨客混載と地域振興

貨客混載は、貨物と旅客の輸送や運行を一緒に行う形態。これまで、効率の良い大量輸送や高頻度輸送を目的とした「貨客分離」が中心であったが、CO2排出量削減などの環境対策や地方の人口減少や少子・高齢化、さらにトラックドライバー不足などにより、「貨客分離」から「混載」などの効率化に向けて、地域や交通インフラ間の連携が必要となっている。

そこで、自動車運送業の担い手を確保するとともに、人口減少に伴う輸送需要の減少が深刻な課題となっている地方等において、人流・物流サービスの持続可能性を確保するため、旅客自動車運送事業者は旅客の運送に、貨物自動車運送事業者は貨物の運送に特化してきた従来のあり方を転換し、一定の条件のもとで事業の「かけもち」を行うことができるよう規制緩和も進んできた。

事例①北越急行（新潟県）との貨客混載

（2016年～実証実験、2017年4月～実用化）

鉄道の輸送余力を活用することで、トラック輸送と比較して約45%のCO2削減する安定 的な幹線輸送を実現

環境対策、労働時間の改善、高齢化によるドライバーの減少、降雪期の輸送路確保、鉄道会社の収益確保、地域の活性化、利便性向上 など複合的な効果がある。

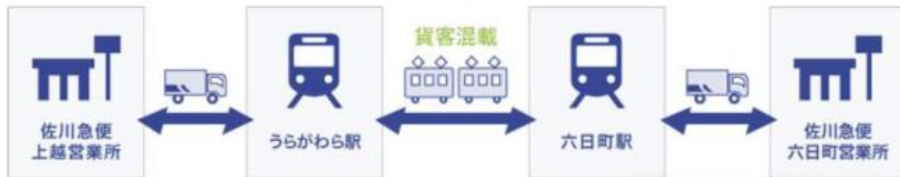


図1. 貨客混載（鉄道）のフロー図



事例②旭川中央ハイヤー（旭川市）との貨客混載

（2017年11月1日～開始）

乗り合いのタクシーで宅配の荷物を戸別配送する「貨客混載」事業を開始。タクシー会社と運送会社が連携。乗り合いタクシーを使った貨客混載や戸別配送の実施は全国初。

環境対策や効率化（配達車両の有効活用）、路線の収支改善、配達員の負担軽減、労働環境改善、地域の活性化、利便性向上、見守り など地域が抱える課題の改善の一助となる。

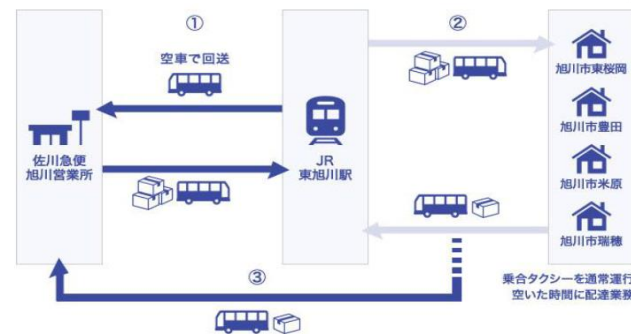


図2. 貨客混載（タクシー）のフロー図



鉄道との貨客混載事例



北越急行様との貨客混載事業

うらがわら駅～六日町駅間のトラック輸送を鉄道輸送に切り替える新たな取り組みを2017年4月より本格運行

約45%の
CO₂削減!

- 環境に優しい物流
- 降雪期の輸送路確保
- トラック運転手不足への対応

■ 貨客混載のフロー図



列車 854M 六日町駅 (20:10着 20:13発) ~ うらがわら駅 (20:50着 20:53発)
857M うらがわら駅 (21:06着 21:09発) ~ 六日町駅 (21:48着)

車両 北越急行所属HK100両編成

運行 平日のみ

乗り合いタクシーとの貨客混載



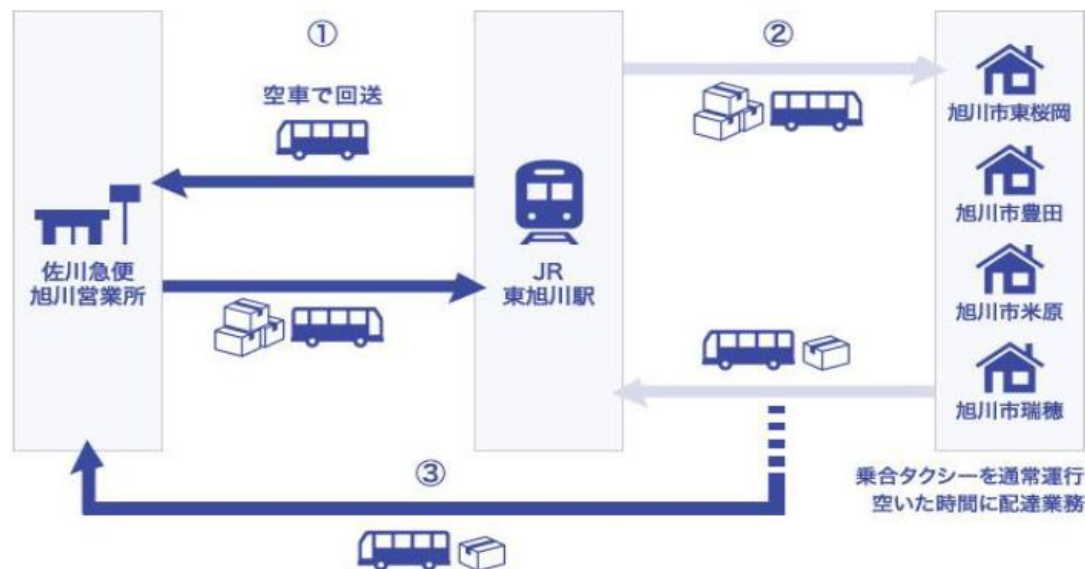
2017年11月1日より、乗り合いタクシーで宅配便の荷物を運ぶ貨客混載事業がスタート

- ・ 過疎地における人流・物流サービスの維持が大きな課題
- ・ 旅客・貨物を運ぶ「かけもち」ができるよう規制が緩和
- ・ 地域交通インフラの活性化

旭川中央ハイヤー様との貨客混載事業



■貨客混載のフロー図

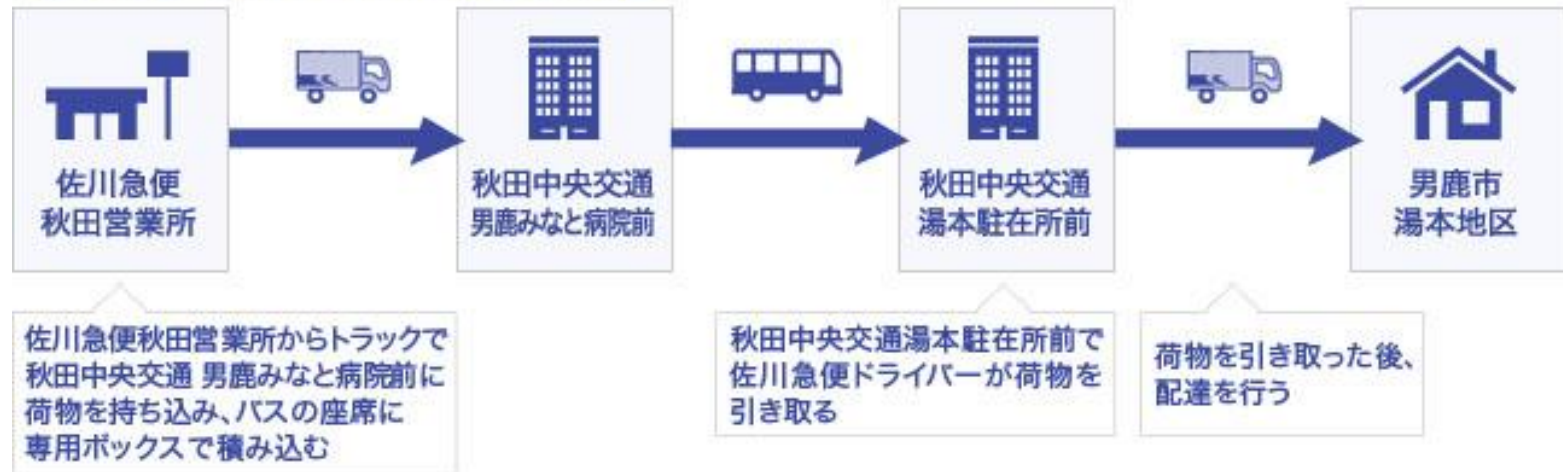


対象エリア：旭川市米飯（ペーパーン）地区、東旭川駅周

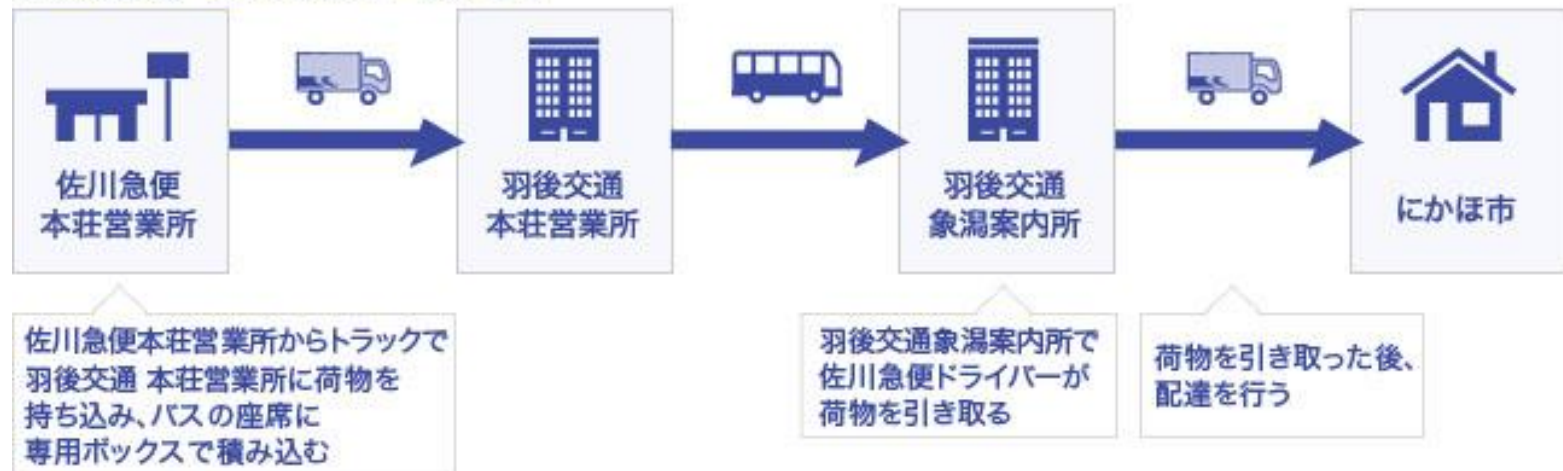
複数の路線バス会社と連携した貨客混載

《運用フロー》

実証実験① 秋田市～男鹿市北浦湯本地区



実証実験② 由利本荘市～にかほ市



【事例4】モーダルシフトの推進

環境負荷低減（CO₂排出量の削減）や労働力不足等への対応に向けて、トラックから鉄道や船舶などの環境負荷が少ない手段に転換する「モーダルシフト」を積極的に推進している。



事例1 スーパーレールカーゴ

佐川急便は、2004年より日本貨物鉄道と共 **エコレールマーク** した電車型特急コンテナ列車「スーパーレールカーゴ」による宅配便輸送を実施。東京～大阪間（約6時間）で毎日深夜に上下各1便運行しており、東京～大阪間の全輸送量の約10%を担っている。上下各1便の合計積載量は、10トントラック56台分に相当、CO₂排出削減など環境 **負荷低減**や**トラックドライバー**や**深夜労働の改善**等に大きな効果を発揮している。

※実績（2016年度）
10トントラックで92,549台の削減効果、
CO₂を129,742トン削減



NEWS RELEASE

報道関係者各位

2017(平成29)年9月11日

佐川急便株式会社

TOYOTA LONGPASS EXPRESS を活用したモーダルシフト開始
 ～4件目の改正物流効率化法認定～

SGホールディングスグループの佐川急便株式会社(本社:京都市南区、代表取締役社長:荒木秀夫)は、愛知県～岩手県の宅配便幹線輸送をトヨタ輸送株式会社(本社:愛知県豊田市、代表取締役社長:板坂克則)が運行する TOYOTA LONGPASS EXPRESS を活用した異業種共同によるモーダルシフトで9月下旬から運用開始いたします。

今回のスキームでは通常、トラックで輸送を行っている佐川急便の中部エリア(愛知県、岐阜県、三重県の一部)から東北エリア(青森県、秋田県、岩手県の一部)宛にお預かりした宅配便(31 フィートコンテナ 1 台分)を、鉄道輸送 (TOYOTA LONGPASS EXPRESS) に切り替えるものです。これにより、トラック輸送にかかるドライバーの運行時間1,685時間/年間が省力化され、CO₂排出量 83.5 トン/年間が削減されます。省力化と環境負荷低減を実現することが可能となることから、国土交通省が物流分野における省力化・環境負荷低減を推進するために昨年10月に改正した「改正物流総合効率化法」の規定により、総合効率化計画として認定されました。

TOYOTA LONGPASS EXPRESS は愛知県東海市～岩手県盛岡市間の約900Kmを結び、中京圏の工場で生産された自動車部品を、トヨタ自動車東日本の岩手工場まで輸送するトヨタ輸送専用の貨物列車です。2017年1月の増便に伴い、当社が規定する配送リードタイムで輸送可能となったことから、今回の異業種共同輸送が実現しました。

佐川急便では今後も配送効率化と輸送品質の向上を目的とした様々な輸送モードの構築に、業種を超えて積極的に取り組んでまいります。

*SGホールディングスグループ

総研株式会社 SGホールディングス株式会社(本社:京都市南区、代表取締役会長:栗和田榮一)、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社・外報団体が構成

【事例5】まちづくりと物流効率化

(環境、安全対策)

大型商業施設や商店街など中心市街地対策で課題となっているのが物流の効率化である。多頻度小口配送の広がりにより納品車両や搬入業者が増加する今、環境問題、施設周辺の交通渋滞、歩行者の安全対策等が必要となっている。

革新的な物流の取組みとして、館内物流システムやスマート納品を実現。

(1) 館内物流

館内物流とは、協働配送の促進や直納車を含めた入館車両の一元管理による、施設全体の「物流効率化・セキュリティ向上」及び施設周辺の「渋滞緩和」による大気汚染の減少をもたらす物流システム。

① 「東京ミッドタウン」

開業時2007年度の直納車両が21万9,300台／年に対して、2013年度は17万1,000台／年と22%削減しており、東京都から「東京における地区物流効率化認定制度」の認証を受けた。物流事業者では初認定。



② 「東京スカイツリー」

2012年度開業前の予測納品車両が約850台／日に対して、2013年度は約380台／日と55%削減。

(CO2排出量換算：排出予測3,272tの約23%にあたる741t-CO2を削減)

大型複合施設の増加、中心市街地の活性化

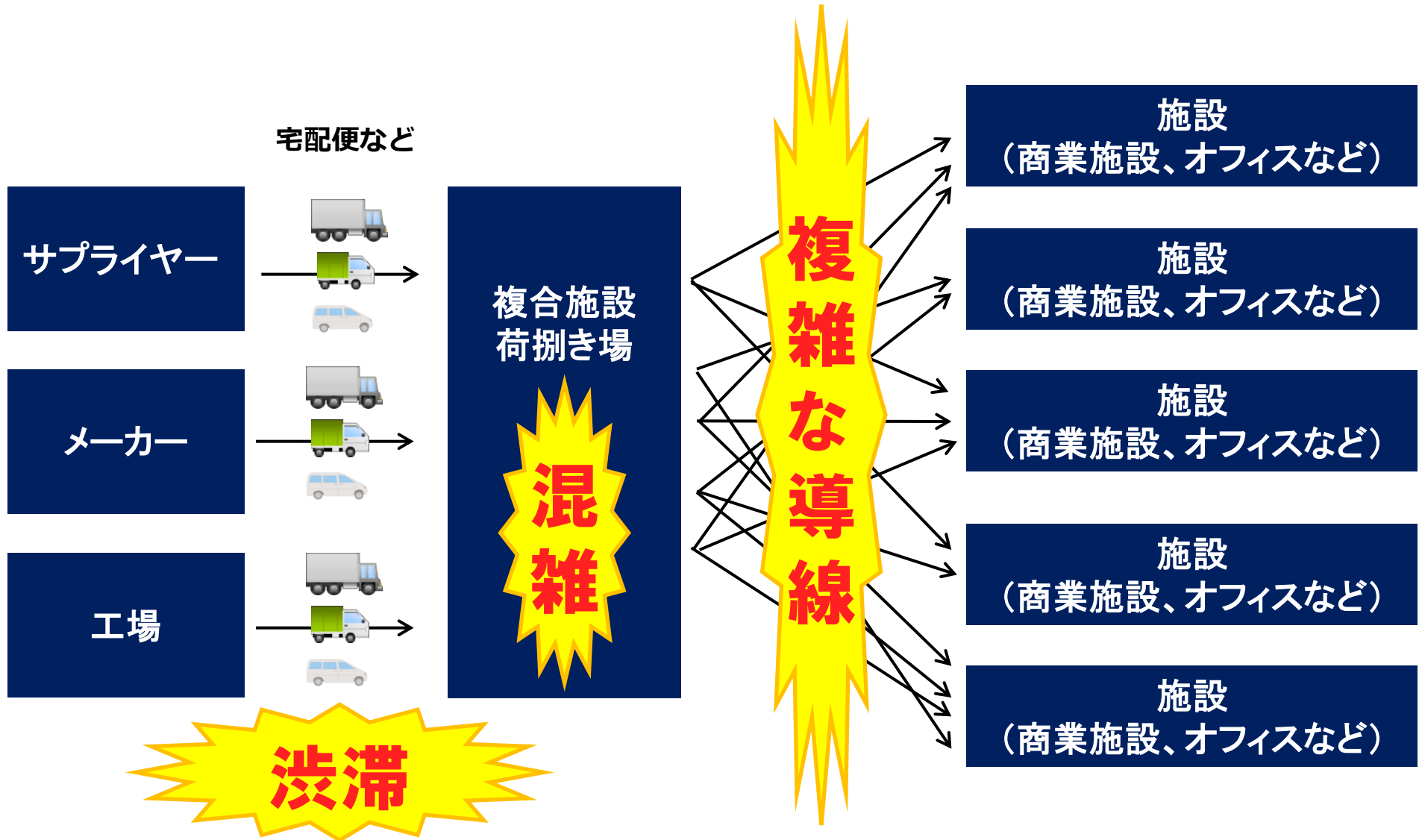
納品車両による諸問題

- ・交通渋滞
- ・排気ガス
- ・騒音



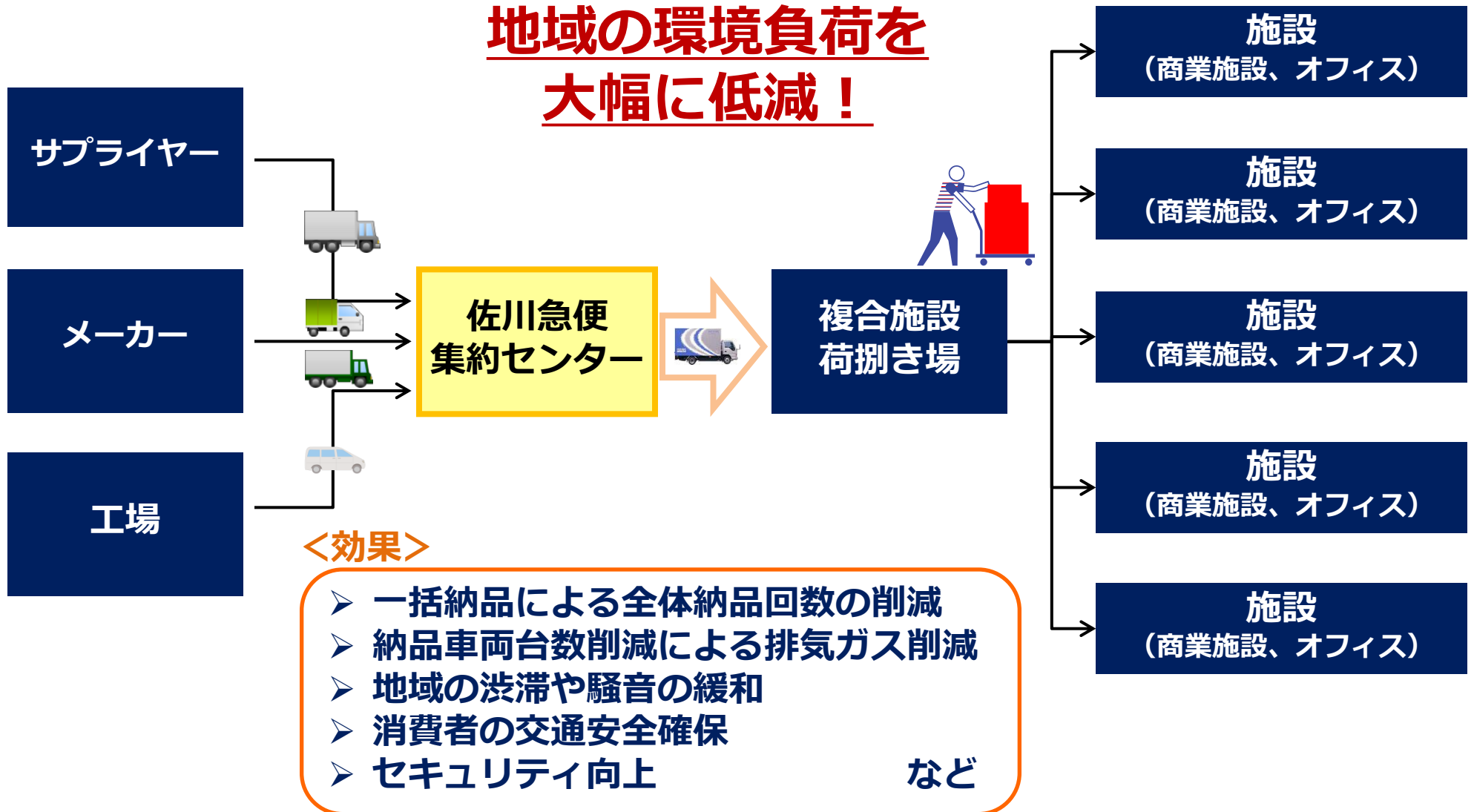
効率的な物流と
地域環境への配慮を両立

● 館内物流の一括受託（実施前）



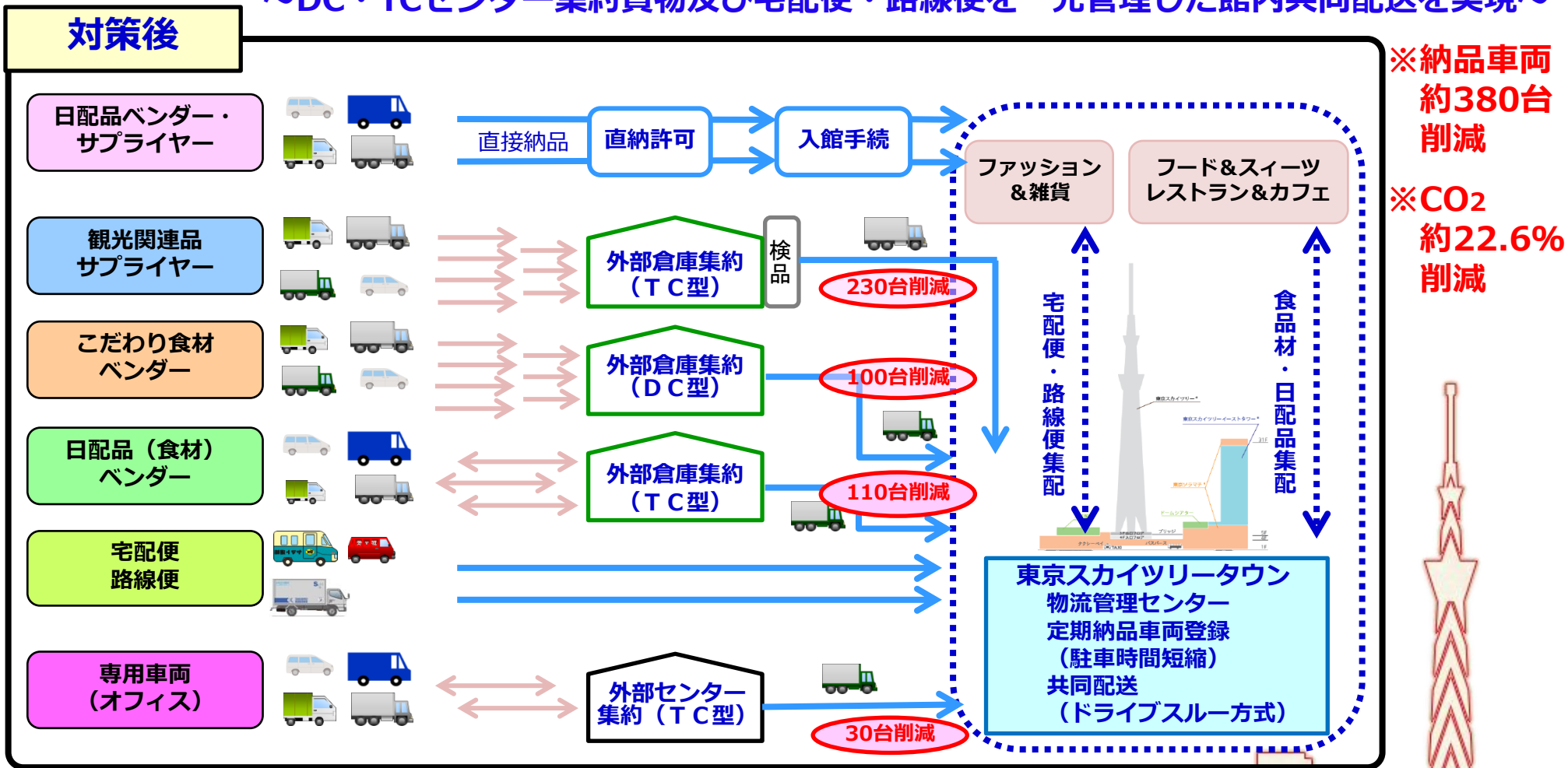
● 館内物流の一括受託（実施後）

**地域の環境負荷を
大幅に低減！**



◆館内物流（例）対策実施後の納品車両の予測

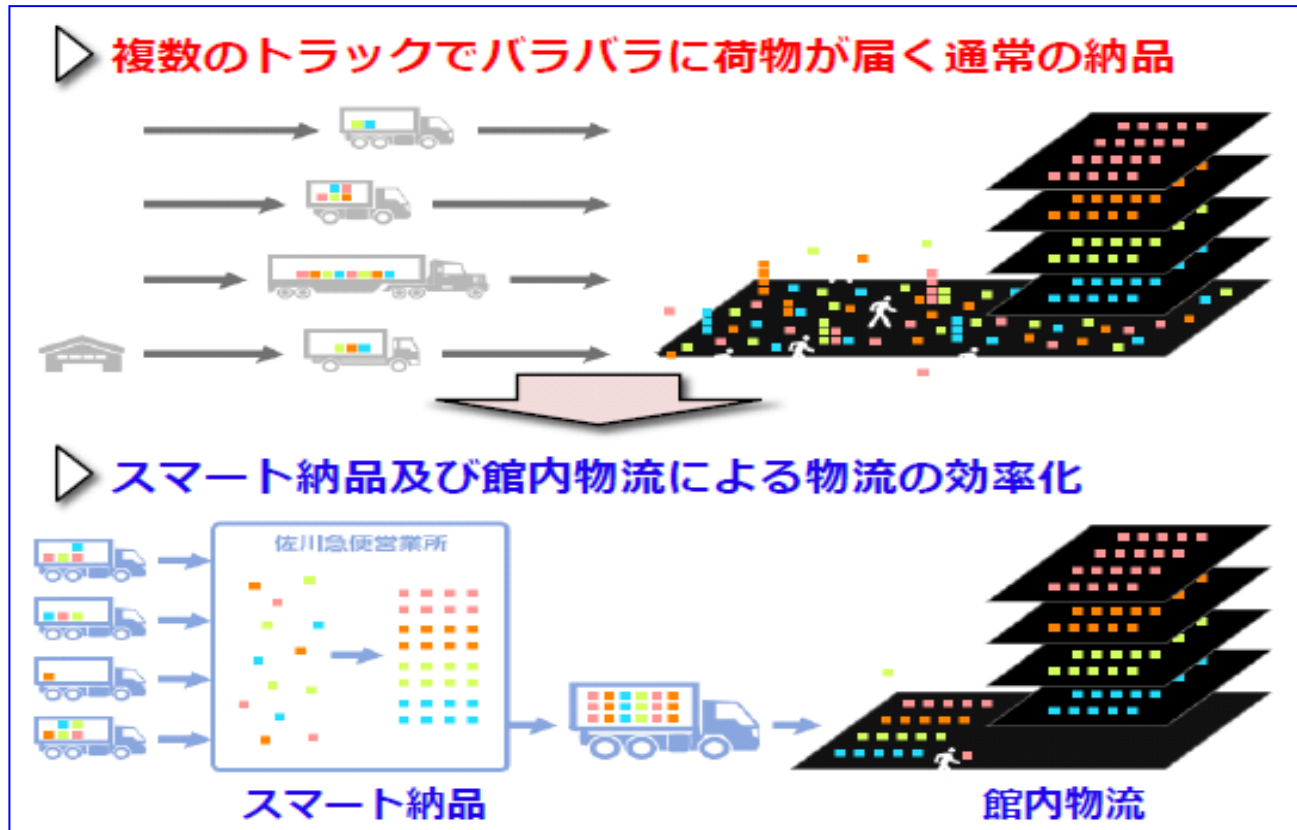
～DC・TCセンター集約貨物及び宅配便・路線便を一元管理した館内共同配送を実現～



スマート納品®

商品の調達（仕入れ）から入荷（入庫・検品）行程を大幅に効率化するサービス「スマート納品」を展開。深夜・早朝を含む時間帯別納品、及び商品カテゴリー別・ローケーション別に事前仕分けすることで、入荷業務の効率化、及び納品時の待機車両の削減を実現し、周辺道路の渋滞緩和 などにも貢献している。

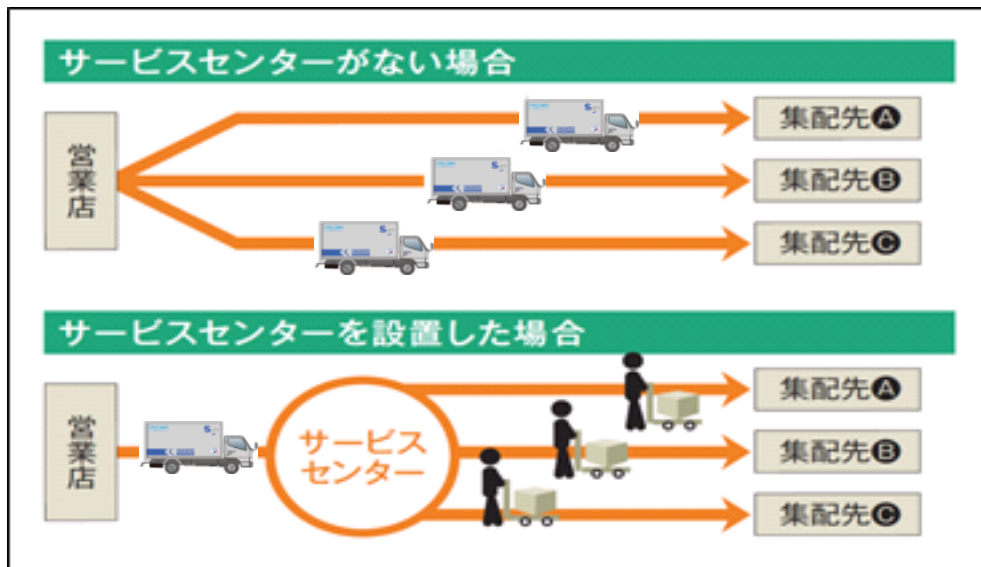
➤ 大型商業施設や物流施設等、約190件導入



サービスセンターの展開

佐川急便は、トラックなどを使用せず台車や自転車などで集配を行う「サービスセンター（SC）」を全国に約325カ所設置している。1カ所当たり3～5台の車両使用を抑制でき、全センター合計では車両1,500台分のCO₂や大気汚染物質の排出削減、配送車両の駐車対策と、路上駐車による交通渋滞の緩和にも貢献

サービスセンターを地域展開することで、女性の就業機会の拡大（女性の活躍推進）や地域コミュニケーション強化、地域活性化にも貢献している。



サービスセンター展開による環境対策



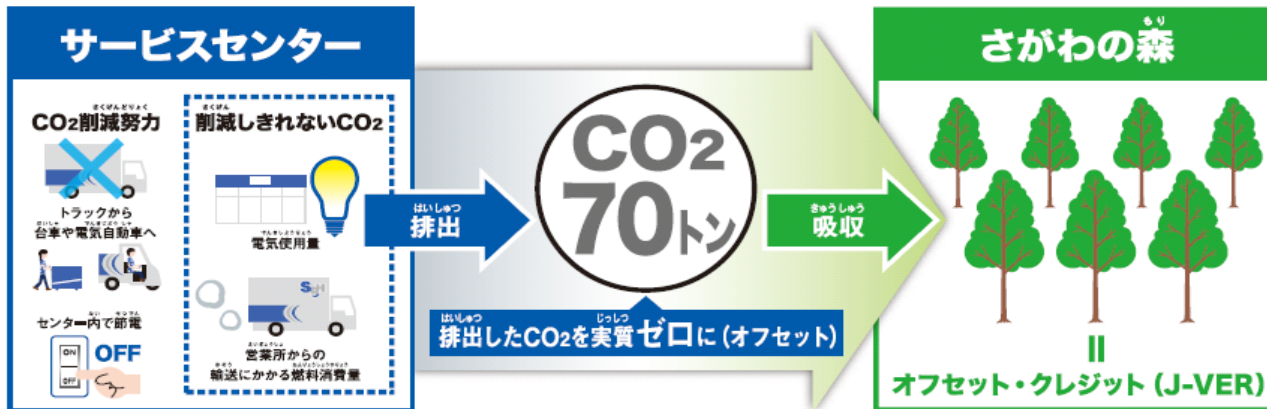
●カーボン・ニュートラルの認証取得

カーボン・ニュートラルとは、事業者等の事業活動等から排出される温室効果ガス排出量の**全部**を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット（埋め合わせ）する取り組み。



東京・京都・福岡の**6箇所**のサービスセンターで
カーボン・ニュートラルを実現。
業界初となる環境省の「カーボン・ニュートラル認証」を取得

カーボン・ニュートラル認証書



事例①女性の活躍推進（働き方改革）

・働く女性の活躍の推進（女性の社会参画機会の拡大への協力）

→子育て女性の就職支援への協力

→女性の職種志向拡大に向け、仕事の魅力発信、セミナーに対する講師派遣、職場体験の受入などを行い、働きたい女性が活躍できる環境づくりを推進

→行政が主催する企業の人事労務担当者向けセミナーや職場環境整備に関する勉強会、女性職員向けのモチベーションアップ研修などに講師を派遣するなどして、女性が活躍する社会の構築に貢献

事例②高齢者の雇用促進（生涯現役社会の構築）

地域のシルバーセンターやNPO等に登録する元気な高齢者を配達の担い手として、新たな雇用の場を提供することで、生涯現役社会の実現の一助となるとともに、地域のコミュニケーション（見守り）強化などにも貢献できている。

また、荷物の配達員の人手不足の解消（労働環境の改善）やトラックを使用せず、小型の荷物を自転車や徒歩で近所に配達するため 環境負荷低減 にも大きく寄与するなど相乗効果も高い。



※実績

鳥取県米子市の米子広域シルバー人材センター、福岡県北九州市シルバー人材センター、佐賀県伊万里市 等

NEWS RELEASE

2016年（平成28年）6月3日

報道関係者各位

SGホールディングス株式会社

SGホールディングスグループ わくわくウイメンズプロジェクト
第3回「わくわくアワード」を実施 ～女性発案によるビジネス創出を促進～

SGホールディングス株式会社（本社：京都市南区、代表取締役会長：栗和田榮一）は、女性の感性を活かした意見・発案による新しいビジネスの創出や既存ビジネスの改善等の取り組みを表彰する社内制度、第3回「わくわくアワード」を5月13日に佐川東京ロジスティクスセンターにて実施しました。




「さがわワクワク・アワードの開催」
女性の活躍や貢献度が向上する取り組みの浸透・活性化のため、優れた取り組みを表彰

2017年度
さがわワクワク委員会テーマ

受け入れよう多様な働き方！
変えよう私たちの働き方！

掲げよう
・定着率向上 ・女性戦力の強化



SgH | SAGAWA



SgH | **SAGAWA**